

一般演題

11月14日 (木)

第3会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G303+G304)

1 (PC) 11月14日 (木) 13:30~14:20 慢性期医療の質の向上①

【座長】加藤寛 泉佐野優人会病院 院長 医師

【評価者】脊戸英臣 苫小牧東病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
1-1	畑中 健二	看護師	神奈川県	鶴巻温泉病院 特殊疾患病棟	看護・介護の排便ケアの向上を目指して～排便支援委員会としての取り組み～
1-2	津江 尚幸	理学療法士	山口県	山口平成病院	回復期リハビリテーション入院患者の認知機能と下着形態改善の関連：多施設後ろ向きコホート研究
1-3	笹崎 恵	歯科衛生士	新潟県	長岡保養園 介護医療院すま居る リハビリテーション部	誤嚥性肺炎を繰り返しても「口から食べたい」想いに寄り添って～口腔ケアの重要性～
1-4	林田 夕奈	管理栄養士	大阪府	千里リハビリテーション病院 診療支援部 栄養課	回復期リハビリテーション病院の脳卒中患者において入院時 BMI が食事摂取量および ADL に与える影響
1-5	日下 康平	理学療法士	三重県	花の丘病院リハビリテーション科	在宅リハビリテーションによる栄養支援・連携の取り組みと今後の展望について

2 (PC) 11月14日 (木) 14:20~15:10 チーム医療①

【座長】清水英治 世田谷記念病院 院長 医師

【評価者】加藤寛 泉佐野優人会病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
2-1	矢野 慎子	管理栄養士	埼玉県	富家病院栄養科	介入法変更による NST 活動の変遷と効果
2-2	寺井 淳志	作業療法士	兵庫県	サポートハウス ココロネ住吉 リハビリテーション部	逸脱行動に対する低減方略の検討～ABC 理論および職員アンケートの分析に基づいて～
2-3	石川 恵美子	作業療法士	神奈川県	青葉さわい病院	ウェルスダイナミクスを活用したグループディスカッションによるリハ職のチームビルディング
2-4	鈴木 礼子	看護師	栃木県	白澤病院 看護部	やってみよう！会話でつなぐ和～まずは雑談からはじめよう～
2-5	小坂 尚志	理学療法士	茨城県	牛尾病院 介護医療院	管理者およびチームリーダーのリーダーシップ行動と職員の心理的安全性・ワークエンゲージメントとの関連

3 (PC) 11月14日 (木) 15:10～16:00 経営管理①

【座長】小豆畑丈夫 小豆畑病院 理事長 医師

【評価者】沼田一成 奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
3-1	卜部 憲和	医師	静岡県	きせがわ病院	医療療養病床から地域包括ケア病床への一部 病床機能転換の検討
3-2	目黒 浩昭	医師	栃木県	日光野口病院 診療部	当院での組織改革の軌跡・検証・展望～クル ト・レヴィンとJ・P・コッターの組織変革プ ロセスを意識して～
3-3	藤井 雅巳	法人管理職	東京都	まちだ丘の上病院	あなたらしい生き方を大切にするコミュニ ケーションフラットな組織づくり
3-4	坪井 さやか	医師	和歌山県	名手病院	ヘルスケア従事者へのマインドフルネス研 修～ウェルビーイングな職場づくりにおける
3-5	宮口 光太	事務職	鹿児島県	キラメキテラスヘルス ケアホスピタル	当院の環境経営活動について～持続可能な社 会の実現に向けて～

4 (PC) 11月14日 (木) 16:00～16:50 回復期リハビリテーション①

【座長】脊戸英臣 苫小牧東病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

【評価者】杉本大介 世田谷記念病院 看護部 副看護部長 看護師

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
4-1	井上 博貴	理学療法士	千葉県	菜園台リハビリテ ーション病院	強い運転再開と塗装業の復職希望があった脳 血管障害患者の支援を経験して
4-2	篠原 雪	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーショ ン病院	高次脳機能障害がある患者に興味関心チェッ クリストを活用し、IADL 再構築を図った例
4-3	荒尾 雅文	理学療法士	東京都	みなみ野病院 リハビ リテーション科	回復期リハビリ病棟における移動能力アウト カムと退院時移動能力に応じた FIM 下位項目 別の自立度について
4-4	井旗 貫太	理学療法士	埼玉県	富家病院リハビリテ ーション室	当院回復期透析患者の栄養状態とバランス機 能の関連性
4-5	福西 成剛	理学療法士	徳島県	博愛記念病院リハビ リテーション科	COVID-19 罹患後患者に合併したサルコペ ニアに対する栄養管理と運動療法の有効性につ いて

5 (PC) 11月14日 (木) 16:50~17:40 リハビリテーション①

【座長】小川けい 平成病院 リハビリテーション部 課長 言語聴覚士

【評価者】矢富匠 有吉病院 リハビリ科 主任 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
5-1	小野 雄太郎	理学療法士	福島県	いわき湯本病院 リハビリテーション部	短時間通所リハビリにおけるサルコペニアと膝伸筋力について
5-2	山口 愛理	作業療法士	福岡県	高良台リハビリテーション病院 通所リハビリ	生活を見据えた目標立案が ICF の活動・参加に及ぼす影響
5-3	森 喜紀	理学療法士	和歌山県	桜ヶ丘病院リハビリテーション科	高齢認知症患者の尿失禁に対する取り組み—骨盤底筋群の協働筋へのアプローチ—
5-4	小河原 雄大	言語聴覚士	東京都	平成扇病院リハビリテーション科	咽後膿瘍により重度嚥下障害を呈したが、良好な回復を認めた 1 症例
5-5	阿部 美鈴	言語聴覚士	宮城県	西仙台病院 リハビリテーション科	両側小脳・脳幹部梗塞による嚥下障害に対しバルーン法を中心に適用し常食摂取可能となった症例

6 (PC) 11月14日 (木) 17:40~18:40 リハビリテーション②

【座長】沼田一成 奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長 作業療法士

【評価者】荒尾雅文 みなみ野病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
6-1	高木 武蔵	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	全介助患者用評価表 STAP の開発と褥瘡保有率との関連の調査
6-2	成田 彰信	理学療法士	神奈川県	鶴巻温泉病院リハビリテーション部	医療療養病床入院患者における車椅子離床頻度の違いは覚醒状態の変化を介して肺炎予防に影響を及ぼすのか
6-3	高橋 航	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院 セラピー部	複数の転倒歴がある進行性核上性麻痺の症例—自宅退院を見据えた回復期リハビリでの取り組み—
6-4	宮川 友輔	作業療法士	香川県	橋本病院	自作ポータブルスプリングバランサーの費用対効果
6-5	大西 星也	作業療法士	香川県	橋本病院 リハビリテーション部	重度頸髄損傷者に対しスマートフォンの音声機能によるアプローチが QOL 向上に繋がった症例
6-6	細田 美佳	言語聴覚士	東京都	緑成会整育園リハビリテーション科	発達障がい児に対する集団コミュニケーション療法の取り組み

第4会場（パシフィコ横浜ノース 1F G1）

7（ポスター） 11月14日（木） 13:30～14:20 回復期リハビリテーション②

【座長】貝瀬充 内田病院 回復期リハビリテーション 病棟フロアマネジャー 理学療法士

【評価者】豊田平介 永生病院 法人本部 広報連携・地域支援事業部 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
7-1	坂口 萌香	理学療法士	北海道	花川病院リハビリテーション部	超高齢者に対する回復期リハビリテーションの効果—FIMを用いた年齢区分別検討—
7-2	後根 圭佑	理学療法士	香川県	橋本病院	回復期リハビリテーション病棟入院患者の機能機能がADLに及ぼす影響
7-3	村上 真之介	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	脳出血発症後三カ月経過した症例～介助量軽減を目指して～
7-4	大飼 智也	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	covid-19の5類感染症移行後、感染対策と退院前支援の両立を考えた回復期病棟の1症例
7-5	葛山 美里	理学療法士	千葉県	薬園台リハビリテーション病院	セルフネグレクト、社会的孤立を呈していた脳卒中患者の自宅復帰事例 行政、地域支援と療法士連携の重要性

8（ポスター） 11月14日（木） 14:20～15:10 回復期リハビリテーション③

【座長】福田真也 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟 副主任 理学療法士

【評価者】貝瀬充 内田病院 回復期リハビリテーション 病棟フロアマネジャー 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
8-1	安藤 潤	作業療法士	福岡県	原土井病院リハビリテーション科	認知機能低下を呈したロービジョン患者に対する退院支援に難渋した症例—ロービジョンケアに着目して—
8-2	大橋 弘子	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院	回復期リハビリテーション病棟の入浴業務の効率化 インターコミュニケーションシステム導入を試みて
8-3	夏原 耀一	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟における在宅療養に向けた外泊練習の効果と意義について
8-4	尾松 紗也香	作業療法士	京都府	京都リハビリテーション病院リハビリテーション部	重度の右片麻痺と高次脳機能障害を呈した症例に対しトイレの一連動作に着目した取り組み
8-5	福士 達也	作業療法士	北海道	愛全病院リハビリテーション部	当回復期リハビリテーション病棟における集団的個別アプローチの取り込みについて

9 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10~16:00 回復期リハビリテーション④

【座長】豊田平介 永生病院 法人本部 広報連携・地域支援事業部 理学療法士

【評価者】宮野一也 高良台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 マネジャー 作業療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
9-1	岸宗 志明	理学療法士	東京都	世田谷記念病院リハビリテーション科	早期リハビリテーションにより ADL 改善を認めましたが、足部内反位の管理に難渋した症例
9-2	関下 大介	理学療法士	東京都	みなみ野病院リハビリテーション科	当院回復期病棟において早期自宅退院に向けて取り組んだ一症例
9-3	目黒 正啓	看護師	千葉県	印西総合病院	A 回復期リハビリテーション病棟での転倒予防に対する危険予知トレーニングの実施～スタッフの意識の変化～
9-4	小林 敦子	看護師	神奈川県	湘陽かしわ台病院 回復期病棟 新棟 4 階	自分らしい退院後の生活をめざして～患者家族の宿泊訓練を通して学んだこと～
9-5	三好 隆也	理学療法士	香川県	橋本病院 リハビリテーション科	右前大脳動脈心原性脳塞栓症による左下肢 Alien Limb Sign の介入方法と経時的变化について

10 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00~16:50 回復期リハビリテーション⑤

【座長】新藤雅和 世田谷記念病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

【評価者】福田真也 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟 副主任 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
10-1	川口 豪	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院 リハビリテーション部	両側性小脳梗塞を発症後に注意機能と運動失調が残存し歩行獲得に至らなかった一症例
10-2	門田 玖美	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	放線冠梗塞により運動麻痺を呈した変形性膝関節症患者に対し実用歩行獲得に向けた取り組み
10-3	井上 希	理学療法士	東京都	緑成会病院 リハビリテーション部	整形疾患に対する歩行学習支援 orthobot の即時的な歩容の変化を認めた一症例
10-4	藤原 玲奈	理学療法士	広島県	島の病院おおたに	「チーム制を活用し、リハの質 UP!!」
10-5	福原 康治	理学療法士	徳島県	博愛記念病院 リハビリテーション部	脊髄完全損傷患者 1 症例に対する HAL 医療用下肢タイプでの運動療法効果

11 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50～17:40 回復期リハビリテーション⑥

【座長】宮野一也 高良台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 マネジャー 作業療法士

【評価者】西田好克 芳珠記念病院 リハビリテーション室 室長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
11-1	高江洲 翼	介護福祉士	大阪府	千里リハビリテーション病院	入浴・更衣の自立を目指したリハビリテーション介護
11-2	田中 航	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	歩行距離延長に向けて栄養面と運動強度に留意した症例
11-3	古屋 千晶	作業療法士	東京都	城山病院リハビリテーション部	膀胱留置カテーテルが挿入された高度肥満の廃用症候群の患者に対し、排泄動作自立に向けた一症例
11-4	小室 拓海	理学療法士	茨城県	志村大宮病院	脳梗塞右片麻痺者の実際に「する」歩行能力獲得までの経過報告
11-5	荒屋 千明	歯科衛生士	岐阜県	近石病院 歯科・口腔外科	回復期病棟専従歯科衛生士に対する意識調査

12 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40～18:30 回復期リハビリテーション⑦

【座長】西田好克 芳珠記念病院 リハビリテーション室 室長 理学療法士

【評価者】新藤雅和 世田谷記念病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
12-1	矢野 幹大	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院リハビリテーション部	膝関節外傷後に深部感覚低下を認めた患者に対して外的・内的焦点化による難易度調整を行った症例
12-2	高田 裕平	看護師	東京都	多摩川病院	A 回復期リハビリテーション病棟看護師が感じている回復期リハビリ看護のやりがいに関する質的検討
12-3	板垣 仁美	臨床心理士	千葉県	富家千葉病院臨床心理室	回復期リハビリテーション病棟における心理職の役割
12-4	宮田 萌々	理学療法士	奈良県	秋津鴻池病院リハビリテーション部	免荷式歩行器・長下肢装具を用いた起立・歩行訓練により座位・移乗動作が向上した重度介助頸髄損傷の一例
12-5	水野 翔太	理学療法士	大阪府	豊中平成病院リハビリテーション課	回復期リハビリテーション患者の入院時の認知機能と自宅退院率の関連：後ろ向きコホート研究

13 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 看護師特定行為

【座長】柏木真里子 鶴巻温泉病院 看護部 副部長 看護師

【評価者】影原彰人 富家千葉病院 副院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
13-1	沖田 聡嗣	看護師	滋賀県	琵琶湖養育院病院	看護師特定研修修了者を中心とした医療療養型病床での取り組み～長期人工呼吸器ケアユニット開設～
13-2	沖田 聡嗣	看護師	滋賀県	琵琶湖養育院病院	医療療養型病床で看護師特定行為を活用した人工呼吸器からの離脱～軸索型ギランバレー症候群の一例～
13-3	井口 朋子	看護師	埼玉県	富家病院	看護師特定行為による PICC 症例の質量向上に関する調査
13-4	杉本 大介	看護師	東京都	世田谷記念病院	局所陰圧閉鎖療法中の仙骨部褥瘡の治療が難渋した症例
13-5	市倉 千恵	看護師	山口県	脳神経筋センターよしみず病院	看護師特定行為実践報告～アンケートから見た取り組みの評価と今後の課題～

14 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 チーム医療②

【座長】栗田麻友 世田谷記念病院 栄養部 係長 管理栄養士

【評価者】柏木真里子 鶴巻温泉病院 看護部 副部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
14-1	新村 有紀子	事務職	千葉県	初富保健病院 医局	医局秘書による「COVID-19 院内発生状況のリアルタイム発信」に関する研究
14-2	鈴木 千里	管理栄養士	千葉県	総泉病院栄養科	当院入院中に経腸栄養・TPN から経口摂取に移行した 12 例のうち 1 例延髄内梗塞患者の詳細提示
14-3	清水 麻帆	管理栄養士	北海道	愛全病院栄養科	「お試し食」による食形態向上と経口摂取移行の取組
14-4	松原 汐里	看護師	富山県	西能みなみ病院	身体拘束をしている患者のストレスに対するアロマトリートメントの効果と検証
14-5	大羽 奈月	言語聴覚士	東京都	セントラル病院 リハビリテーション科	頸椎の骨化性変化を認め、完全側臥位法により経口摂取に移行し、褥瘡治癒に繋がった 1 例

15 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10～16:00 チーム医療③

【座長】影原彰人 富家千葉病院 副院長 医師

【評価者】南部浩志 定山溪病院 リハビリテーション部 副部長 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
15-1	浅野 杏奈	事務職	千葉県	初富保健病院画像連携センター『こころ』	慢性期病院画像連携センターにおける外部・内部顧客満足度向上の活動
15-2	長岡 友美子	看護師	大阪府	千里リハビリテーション病院	復職への強固な意思を持つ外国籍患者の自己決定を支援するための多職種による関わり
15-3	松野 菜穂実	看護師	大阪府	照葉の里箕面病院看護部	中規模療養型病院における認知症ケアチームの立ち上げとその取り組みについて
15-4	神 沙由里	看護師	東京都	セントラル病院看護部	東京都高齢者等医療支援型施設運営を終えて～当院と外部多職種連携・協働の振り返り～
15-5	大野田 有希	作業療法士	長野県	上條記念病院リハビリテーション科	ADL向上を目的としたチーム医療により重症下肢虚血患者のADL・心身機能が改善した一例

16 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00～16:50 チーム医療④

【座長】菅原さとみ 吉田記念病院 看護部 部長 看護師

【評価者】栗田麻友 世田谷記念病院 栄養部 係長 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
16-1	田中 真理子	准看護師	福岡県	北九州宗像中央病院	安全な環境づくり～ピクトグラムを使用し て～
16-2	萩原 富美子	看護師	香川県	永生病院	在宅復帰に向けてそれぞれの出来る事～多職種協働での在宅復帰支援～
16-3	小川 こずえ	作業療法士	東京都	みなみ野病院医療技術 部リハビリテーション科	当院医療療養病棟における多職種連携～OTの 視点が離床拡大やADLの改善に繋がった一症 例～
16-4	城戸 賢次郎	理学療法士	福岡県	原土井病院リハビリ テーション部	急性大動脈解離保存療法の患者に対して心臓 リハビリテーションチームで介入した一例
16-5	中村 裕子	看護師	神奈川県	AOI 国際病院回復期 リハビリテーション病 棟	リハビリテーション病棟における他職種間の 身体抑制の認識とカンファレンスの運用

17 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50~17:40 チーム医療⑤

【座長】南部浩志 定山溪病院 リハビリテーション部 副部長 作業療法士

【評価者】菅原さとみ 吉田記念病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
17-1	藤原 良枝	准看護師	岡山県	柴田病院 医療療養病床	コミュニケーションエラーを減らそう!!～効き脳診断、ハーマンモデル理論を使用して～
17-2	中西 笑子	介護職	北海道	札幌西円山病院 つながる地域サポート部 在宅ケアセンター	多機能慢性期病院の「多」の取り組み～病院併設の居宅介護支援事業所の役割とは～
17-3	原田 聖也	作業療法士	富山県	西能みなみ病院診療部 リハビリテーション科	直接的サポートと間接的サポート (バンカー) を組み合わせたポジショニングの効果と負担について
17-4	平松 隼	理学療法士	東京都	多摩丘陵病院リハビリテーション技術部理学療法科	当院地域包括ケア病棟の早期退院に向けた多職種連携による退院支援の取り組み
17-5	小野寺 彩	作業療法士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	職種横断目標への取り組み改善～対立を生まない工夫～

18 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 地域包括ケア①

【座長】鹿野なつみ 定山溪病院 地域連携室 主任 社会福祉士

【評価者】粉紀男 永生病院 法人本部 広報連携・地域支援事業部 主任 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
18-1	星 昌美	看護師	北海道	聖ヶ丘病院	地域包括ケア病棟導入における退院支援
18-2	梶原 敬義	医師	福岡県	たたらリハビリテーション病院	当院地域包括ケア病棟に於ける百寿者 (100歳以上の高齢者) 症例の経験
18-3	村井 拓磨	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	当院における地域包括ケア病床の実状とリハビリテーション
18-4	茅野 円香	看護師	鹿児島県	国分中央病院看護・介護部	下腿難治性皮膚潰瘍患者の創傷改善へ向けて
18-5	田島 紘己	医師	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	キラメキテラス～室内連絡通路が繋ぐ新たな連携～

19 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20～15:10 地域包括ケア②

【座長】平田知寛 有吉病院 地域包括ケア病棟 主任 看護師

【評価者】鹿野なつみ 定山溪病院 地域連携室 主任 社会福祉士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
19-1	石塚 久佳	看護師	福岡県	恵光会原病院	地域包括ケア病棟における看護師の役割
19-2	小関 康春	理学療法士	京都府	音羽病院リハビリテーション部	ピクトグラムを用いた ADL の視覚化の取り組みの効果検証
19-3	飯川 祐	理学療法士	大阪府	堺平成病院 リハビリテーション科	地域包括ケア病棟の高齢入院患者における食思不振の実態調査
19-4	藤原 佳奈	理学療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタルリハビリテーションセンター	退院予測における DASC-8 の有用性について～FIM との関連性の検討～
19-5	天野 翔太	作業療法士	北海道	聖ヶ丘病院 リハビリテーションセンター	地域包括ケア病棟におけるリハビリテーションの効果と今後の課題

20 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10～16:00 地域包括ケア③

【座長】粉紀男 永生病院 法人本部 広報連携・地域支援事業部 主任 理学療法士

【評価者】石井喬子 有吉病院 地域包括ケア病棟 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
20-1	井上 正成	理学療法士	静岡県	きせがわ病院リハビリテーション課	高齢入院患者の退院にむけての取り組み 地域包括病床から通所リハビリテーションへ
20-2	矢富 匠	理学療法士	福岡県	有吉病院 リハビリテーション科	地域包括ケア病棟開設に伴う、早期退院に向けての取り組み～職員の ADL に対する意識付け～
20-3	吉尾 涼佑	理学療法士	北海道	新札幌ひばりが丘病院 リハビリテーション科	当院地域包括ケア病棟での再入院患者の疾患別特性の分析
20-4	船津 孝子	看護師	島根県	安来第一病院	地域包括ケア病棟におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) 実施に向けた課題
20-5	堀内 美里	音楽療法士	京都府	洛和会京都音楽療法研究センター	地域包括ケア病床における音楽療法の役割を考える

21 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00~16:50 IoT・ロボット①

【座長】中野雄介 みなみ野病院 統括事務部長 事務

【評価者】天辰優太 平成横浜病院 経営企画医師 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
21-1	緒方 俊彦	理学療法士	福岡県	原土井病院リハビリテーション部	足関節背屈不良に対して HAL [®] 医療用単関節タイプを使用し背屈運動が改善した一例
21-2	森山 誠二	理学療法士	埼玉県	平成の森・川島病院リハビリテーション部	介護用移乗サポートロボットをパーキンソン病患者者にリハビリ支援機として使用した経験
21-3	平井 仁	理学療法士	埼玉県	平成の森・川島病院リハビリテーション部	介護用移乗サポートロボットを用いたリハビリ支援の可能性の検討
21-4	宮竹 里志	理学療法士	埼玉県	平成の森・川島病院リハビリテーション部	介護用移乗サポートロボットの回復期リハビリテーション病棟での導入の検討
21-5	廣瀬 貴美代	事務職	東京都	鶴川記念病院 事務部	デジタルトランスフォーマーに挑戦～コロナ禍 シン発熱外来～

22 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50~17:40 IoT・ロボット②

【座長】岡師明 大内病院 事務部 事務長 事務

【評価者】平田知寛 有吉病院 地域包括ケア病棟 主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
22-1	善家 遥	作業療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院リハビリテーション部	自動車運転シミュレータを用いた包括的評価の有用性について
22-2	前田 俊輔	理事	福岡県	日本遠隔医療介護協会	介護医療院での科学的介護に対する介護 DX の活用による効果検証
22-3	阿波 明美	看護師	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	MEWS を用いた状態変化に対する早期発見～安診ネットワーキングチームの結果報告～
22-4	鈴木 裕一	理学療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院リハビリテーション部	シニアカー専用ドライブシミュレータの使用性評価
22-5	眞崎 勝久	介護福祉士	長崎県	介護医療院恵愛荘	インカムトランシーバー活用による「業務の間える化」

23 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40～18:30 IoT・ロボット③

【座長】天辰優太 平成横浜病院 経営企画医師 医師

【評価者】岡師明 大内病院 事務部 事務長 事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
23-1	國廣 澄仁	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院リハビリテーション科	オリヒメアイ導入による入院生活のQOLへの影響
23-2	轡田 晟乙	高専学生	愛媛県	新居浜高専電子制御工学科	筋電図を用いた歩行解析アプリケーションの開発
23-3	酒井 李緒	高専学生	愛媛県	新居浜高専電気情報工学科	臨床使用を考慮した筋電図による歩行解析アプリケーションの時間効率評価
23-4	木村 勇太	高専学生	愛媛県	新居浜高専電子制御工学科	加速度センサを用いた歩行解析アプリケーションの開発
23-5	鹿末 哲郎	介護福祉士	兵庫県	特別養護老人ホームあそか苑カピラ	ICT 機器を実用的に導入するための取り組みについて

24 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30～14:20 地域連携①

【座長】白川卓 橋本病院 地域連携部 主任 言語聴覚士

【評価者】小林裕恵 鹿島病院 医療相談部 部長代理 社会福祉士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
24-1	小豆畑 丈夫	医師	茨城県	小豆畑病院 救急・総合診療科	Oncologic Emergency : 在宅・慢性期医療と救急医療で対応すべき疾患群
24-2	平野 彩	作業療法士	東京都	永生会 広報連携・地域支援事業部 連携委託事業推進室	高次脳機能障害の診断と経済的支援によって希死念慮に改善を認めた1症例
24-3	高島 剛弘	健康運動指導士	福岡県	香椎原病院 体力向上支援センター	院内におけるミニマムな地域包括ケアシステム構築への取り組み
24-4	加藤 彩芳	社会福祉士	北海道	札幌西円山病院 つながる地域サポート部	回復期・慢性期病院が推進する病診連携とは～整形クリニックへの広報分析から相談・紹介・逆紹介に着目して
24-5	野志 晃生	高専学生	愛媛県	新居浜高専生産工学専攻科	タブレット型運転基礎トレーニングの訓練効果検証

25 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 地域連携②

【座長】河野伸吾 定山溪病院 理学療法科 科長 理学療法士

【評価者】白川卓 橋本病院 地域連携部 主任 言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
25-1	石垣 聖子	看護師	茨城県	土浦リハビリテーション病院 介護医療院 腎センター	地域包括ケアシステムにおける当院の役割—透析患者の生活を支えるため—
25-2	中尾 幸恵	歯科医師	岐阜県	近石病院 歯科・口腔外科	地域中核病院における歯科・口腔外科の現状と地域連携に向けた今後の課題
25-3	奥野 さゆり	看護師	滋賀県	社会医療法人誠光会法人本部	地域包括ケアシステムで必要となる地域包括ケア病棟の病床活用と地域連携
25-4	深野 幸太	救急救命士	島根県	加藤病院 診療部	病院救命士が拓く地域包括ケアの新たな未来 当法人の働き方改革；病院救命士によるタスクシフト/シェア推進
25-5	石光 雄太	理学療法士	山口県	関門医療センターリハビリテーション科	超高齢社会における適切な呼吸管理・呼吸リハビリテーション普及に向けた取り組み

26 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10~16:00 患者・家族とのかかわり①

【座長】小林裕恵 鹿島病院 医療相談部 部長代理 社会福祉士

【評価者】柿谷幸子 多摩川病院 看護部 看護スーパーバイザー 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
26-1	松本 美有紀	看護師	東京都	ベトレヘムの園病院	意向に沿わない退院となる患者の意思決定を支えた一症例
26-2	三上 可奈子	看護師	北海道	札幌西円山病院 看護介護部	患者の意思決定、訴えに寄り添った看護—患者が望むケアの実現を検討することの重要性の学び—
26-3	水上 稔康	介護福祉士	北海道	聖ヶ丘病院	面会制限が緩和されたことによる家族の心理
26-4	成田 明日香	看護師	北海道	聖ヶ丘病院	接遇意識改善への取り組み
26-5	工藤 香菜	看護師	北海道	花川病院	入院時からの ACP の取り組み—大好きな羊羹を食べたい—

27 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00～16:50 患者・家族とのかかわり②

【座長】安本友子 豊中平成病院 看護部 看護スーパーバイザー 看護師

【評価者】河野伸吾 定山溪病院 理学療法科 科長 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
27-1	佐竹 有希	看護師	神奈川県	青葉さわい病院 看護部	回復期リハビリテーション病棟における退院支援～看護師による退院後電話訪問を導入して～
27-2	櫛田 康代	看護師	東京都	石川島記念病院	ハンドマッサージで会話は必ずむ笑顔
27-3	平塚 健	医師	愛知県	安藤病院	通所リハビリテーションを利用する高齢者を対象とした ACP 導入ツールとしてのもしバナゲームの有用性の検討
27-4	田村 麻実	看護師	東京都	ねりま健育会病院 看護部	入院中の認知機能低下で要介護状態となった患者・家族への関わり 老々介護での well-being な退院支援
27-5	古閑 彩奈	理学療法士	熊本県	谷田病院リハビリテーション科	ポジティブフィードバックにより前向きな姿勢となった一症例

28 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50～17:40 患者・家族とのかかわり③

【座長】柿谷幸子 多摩川病院 看護部 看護スーパーバイザー 看護師

【評価者】鈴木三和 美原記念病院 障害者一般病棟 師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
28-1	要 恵美	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院 看護部	胃瘻造設後に、経口摂取が可能となった症例～家族の思いに寄り添う看護～
28-2	比嘉 華乃	調理員	沖縄県	屋宜原病院 診療支援部 栄養課	喜んでいただける行事食を目指して
28-3	比嘉 三菜子	看護師	沖縄県	屋宜原病院 看護部 5階病棟	逝去時看護の意識について—エンゼルケア、メイクを見直す—
28-4	新山 真由	作業療法士	東京都	ねりま健育会病院	オンライン面会における患者のストレス軽減と家族満足度向上へ向けた取り組みと効果検証
28-5	高橋 雅美	介護福祉士	東京都	永生病院看護部	介護職が退院支援に関わる取り組み—より効果的なオムツ交換指導を目指して—

29 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40~18:30 患者・家族とのかかわり④

【座長】鈴木三和 美原記念病院 障害者一般病棟 師長 看護師

【評価者】安本友子 豊中平成病院 看護部 看護スーパーバイザー 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
29-1	釜戸 利幸	理学療法士	兵庫県	明海病院 リハビリテーション科	入院患者の『孫の結婚式に参加したい』という希望を叶えることができた症例～環境調整と他職種との連携～
29-2	富永 佳子	介護職	佐賀県	志田病院 介護保険部	認知症の方の支援について
29-3	本多 隆成	理学療法士	佐賀県	志田病院	安住できる居住環境を求めて～生活期セラピストとしての関わり～
29-4	山田 和子	介護福祉士	埼玉県	大宮共立病院	入所者のニーズを捉える～個別インタビューで見えたこと～
29-5	梶原 志保	看護師	東京都	竹川病院	回復期病棟における入院患者の幸せホルモン分泌向上への取り組み

第5会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G302)

30 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 慢性期医療 (治療) ①

【座長】石津寛之 札幌西円山病院 診療部 医長 医師

【評価者】中村大輔 元気会横浜病院 副院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
30-1	山之上 弘樹	医師	静岡県	静岡徳洲会病院	残存した胃瘻瘻孔より落下した消化管異物の一例
30-2	的場 孝盛	医師	千葉県	初富保健病院	当院における経口抗凝固薬エドキサバン内服における出血リスクについての検討
30-3	柴田 知佳子	看護師	富山県	富山赤十字病院	長期に渡り繰り返し化学療法を受ける高齢患者の思い～造血器がん患者に焦点をあてて～
30-4	大塚 浩一	理学療法士	福井県	池端病院リハビリテーション科	当院の高齢入院患者における、早期退院に影響する要因の予備的調査
30-5	丸山 徹	医師	福岡県	原土井病院	高齢者にみられた BRASH 症候群の 3 例

31 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20～15:10 慢性期医療 (治療) ②

【座長】中村佐智子 世田谷記念病院 看護部 看護部長 看護師

【評価者】石津寛之 札幌西円山病院 診療部 医長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
31-1	高瀬 翔哉	作業療法士	北海道	洞爺温泉病院リハビリテーション課	多職種協働と持続的な精神的支援により能力向上が得られた高齢両下肢切断患者の一例
31-2	飼鳥 裕美	看護師	大阪府	弥刀中央病院 看護部	豆乳を使用してメタボリックシンドロームの改善を試みる取り組み
31-3	新垣 一平	介護福祉士	沖縄県	北中城若松病院	長期療養から長期自宅へ～心豊かな療養生活～
31-4	保田 祥代	言語聴覚士	愛知県	刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科	医療療養病床に非経口摂取で入院した患者の実態
31-5	大霜 瑞基	看護師	広島県	ナカムラ病院	CVC 留置をしている高齢者への適切な固定方法

32 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10～16:00 慢性期医療 (治療) ③

【座長】中村大輔 元気会横浜病院 副院長 医師

【評価者】市川徳和 永井病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
32-1	北郷 春菜	准看護師	福島県	いわき湯本病院看護部	足湯がポジティブ感情に与える影響について
32-2	森本 健	医師	東京都	介護医療院セントラル大田	高齢者施設での入所者予後因子の検討
32-3	高橋 恭子	言語聴覚士	埼玉県	埼玉回生病院リハビリテーション科	療養型病院入院患者における耳垢栓塞の割合とその関連要因
32-4	和田 浩治	医師	大分県	和田病院	当院における高齢者の前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺吊り上げ術 (PUL) の初期経験
32-5	高岡 茉奈美	看護師	東京都	東京大学大学院医学系研究科	療養病床における長期ケアの質指標の活用可能性の検討: VENUS study

33 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00~16:50 在宅医療・看護①

【座長】近内光代 福島寿光会病院 看護部 部長 看護師

【評価者】中村佐智子 世田谷記念病院 看護部 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
33-1	高野 敬士	理学療法士	熊本県	桜十字病院 リハビリテーション部	人工呼吸器離脱に向けたシームレスな取り組み～脳出血後の長期人工呼吸器管理から離脱できた頸髄損傷例～
33-2	深田 玄樹	看護師	埼玉県	富家訪問看護ステーションふじみ野	オリジナルハザードマップを使用した訪問看護における災害対策。～在宅療養者の実態と課題～
33-3	板垣 史郎	薬剤師	北海道	札幌医科大学 附属産学・地域連携センター	産学官連携に基づく、医療現場ニーズに対応した間欠動作機能を備える低圧吸引機の開発
33-4	上運天 裕子	看護師	沖縄県	大浜第二病院外来	複合型施設における外来看護師の役割
33-5	長峰 誠	臨床工学技士	埼玉県	メディカルホームふじみ野	メディカルホームふじみ野の在宅透析のメリットデメリット

34 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50~17:40 感染症①

【座長】市川徳和 永井病院 院長 医師

【評価者】永田雅治 新栄会病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
34-1	南 峰子	看護師	富山県	西能みなみ病院 看護部	感染症 5 類以降に新型コロナウイルス感染症クラスター発生の対応
34-2	濱田 洋数	理学療法士	岡山県	柴田病院リハビリテーション部	孤独感が原因で意欲低下を起こした一症例から感じたこと
34-3	山縣 悠太	看護師	山口県	光風園病院看護部	手指消毒薬使用量増加に向けた取り組み
34-4	村田 博美	看護師	山梨県	城東病院	新型コロナウイルス感染症に対する慢性期病棟での至適対策 抗原定量値と入院期間の考察
34-5	ウィリアムズ まどか	看護師	東京都	陵北病院	多職種から成る「感染管理スタッフ会」での教育活動が手指消毒剤使用量増加に与えた影響

35 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40~18:20 感染症②

【座長】永田雅治 新栄会病院 院長 医師

【評価者】近内光代 福島寿光会病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
35-1	村上 香久子	看護師	東京都	鶴川サナトリウム病院 看護部	新型コロナウイルス感染症 5 類移行後の対応から学んだこと
35-2	久岡 あかね	看護師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	院内における新型コロナ対策と今後の課題
35-3	横澤 由美	看護師	埼玉県	新越谷病院障害者病棟	耐性菌保有者に対する感染対策の見直し
35-4	千代田 生子	看護師	兵庫県	西宮回生病院外来	発熱外来を経験した外来看護師の COVID-19 感染対策への不安要因に関する質的研究

36 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 認知症①

【座長】長野綾 橋本病院 認知症治療病棟 主任 看護師

【評価者】岡弘江 高良台リハビリテーション病院 看護部 副部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
36-1	西又 友紀子	看護師	愛知県	高浜豊田病院介護看護部	認知機能低下を呈する癌患者の良質な睡眠を目指して〈眠り SCAN を活用した疼痛コントロールの効果と必要性〉
36-2	立島 美穂	看護師	富山県	ふくの若葉病院看護・介護部	拒食状態の認知症高齢患者の経口摂取行動再獲得に向けた取り組み
36-3	盛田 大樹	看護師	富山県	富山城南病院	認知症ケアチームと病棟職員のチームアプローチにより弄便・帰宅要求が改善した一事例
36-4	野村 昌子	介護職	福岡県	北九州古賀病院	認知症治療病棟における『なじみの音楽体操』の効果
36-5	谷口 創介	作業療法士	埼玉県	大宮共立病院	認知症初期集中支援チームの活動報告—作業療法士の立場から、評価と介入内容について—

37 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 認知症②

【座長】宮越正子 みなみ野病院 看護部 部長 看護師

【評価者】長野綾 橋本病院 認知症治療病棟 主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
37-1	水上 美幸	看護師	富山県	光ヶ丘病院	生活史を取り入れたコミュニケーションの意図的な工夫から食べる意欲を引き出せた事例
37-2	前川 恵美	介護福祉士	沖縄県	北中城若松病院 認知症リハビリ課	コロナに負けない健康なむらづくり
37-3	成尾 勇輝	作業療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	重度認知症者に対する作業への従事に向けた介入 Engagement の視点を以いて
37-4	川本 裕幸	介護福祉士	東京都	介護老人保健施設ライフサポートひなた	回想法にアロマの匂いを組み合わせることによる認知症の改善～幸せホルモンへの取り組み～
37-5	下村 理夏	作業療法士	高知県	愛宕病院分院リハビリテーション科	余暇時間の工夫によりアパシーが改善した症例—興味関心チェックシートを用いた介入—

38 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10~16:00 認知症③

【座長】岡弘江 高良台リハビリテーション病院 看護部 副部長 看護師

【評価者】程塚明 平成横浜病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
38-1	帯瀬 亮子	介護職	東京都	永生病院看護部	夕暮れ症候群を呈する患者を介護する介護職員の混乱感と LEAP を活用してのアプローチに関する研究
38-2	竹本 恵	介護福祉士	香川県	橋本病院	職員の気付き・対応により ADL に変化が見られた一症例
38-3	木村 勇作	看護師	徳島県	博愛記念病院	「重度の認知症患者の意思表示の変化～面接方法を見なおして～」
38-4	小川 美佳	看護師	島根県	安来第一病院	妻との死別に直面した高齢患者に寄り添うケア
38-5	藤生 大我	理学療法士	群馬県	介護老人保健施設 大誠苑	COVID-19 発症後の認知症の利用者の ADL 低下の関連要因～クラスターの経験からの学び～

39 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00~16:50 ターミナルケア・緩和ケア①

【座長】松浦美香 志田病院 看護部 部長 看護師

【評価者】宮越正子 みなみ野病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
39-1	角 良太	准看護師	鳥取県	養和病院介護医療院	人生の最終段階における家族との関わり
39-2	菊池 美咲	看護師	宮城県	石巻健育会病院 看護部	当院における ACP の取り組み～仕組みづくりと実践～
39-3	多田 希代子	看護師	福井県	福井リハビリテーション病院	延命に関する意思確認書はこれでいいの?～本人・家族の意見を取り入れた看取りケアを目指して～
39-4	高橋 厚子	看護師	宮城県	石巻健育会病院 看護部	終末期患者の意思を尊重した支援
39-5	與那嶺 美沙 紀	管理栄養士	沖縄県	牧港中央病院 栄養課	末期心不全患者への多職種介入と患者と家族に寄り添った終末期ケア～大好きなコーラを飲むことを叶える～

40 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50～17:40 ターミナルケア・緩和ケア②

【座長】程塚明 平成横浜病院 院長 医師

【評価者】大久保修和 弥刀中央病院 副院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
40-1	船津 孝子	看護師	島根県	安来第一病院	地域包括ケア病棟におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) 実施に向けた課題
40-2	今野 京	介護福祉士	埼玉県	霞ヶ関南病院	人生の最終段階の方とその家族に対する関わり
40-3	三島 貴子	看護師	東京都	磯医院訪問看護ステーション	在宅における ACP の取り組み～自らの意思で血液透析を中止した利用者への関わり～
40-4	副島 菜緒子	看護師	福岡県	恵光会原病院	若い緩和ケア患者に対する介入の難しさや課題について
40-5	倉見 なつき	看護師	愛知県	安藤病院	看護・介護職が実感した「もしバナゲーム」の有用性についてーゲーム実施後のアンケート調査よりー

41 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40～18:30 ターミナルケア・緩和ケア③

【座長】大久保修和 弥刀中央病院 副院長 医師

【評価者】松浦美香 志田病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
41-1	小林 利恵	看護師	静岡県	熱川温泉病院 医療療養病棟	医療療養病棟の終末期患者に対するアドバンスケアプランニングの取り組みの現状と効果
41-2	小池 朋子	看護師	東京都	信愛病院 看護部 緩和ケア病棟	エンゼルメイクの技術を学び力にする～身近なメイク用品を使用し、色相環を取り入れたエンゼルメイク～
41-3	石井 喬子	看護師	福岡県	有吉病院ケア部	患者の意思決定を尊重した APC の実践～関連施設と退院調整を行った 1 症例を振り返る～
41-4	平戸 こゆき	看護師	茨城県	志村大宮病院緩和ケア病棟	心に寄り添う看護とは～終末期にある患者とその家族への支援～
41-5	室谷 恭子	看護師	大阪府	ベルピアノ病院 看護部	多職種協働により最期まで本人の意思を尊重し看取りをした症例

第6会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G312+G313)

42 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 看護①

【座長】溝口由季 霞ヶ関南病院 看護部 看護師

【評価者】下田優子 鶴巻温泉病院 看護部 科長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
42-1	中村 公威	看護師	千葉県	初富保健病院	腰痛予防への取り組み～ラジオ体操を通して～
42-2	野尻 雪枝	看護師	栃木県	とちぎメディカルセンターとちのき 看護部	透析患者の運動に対する印象を探る—運動実施前後での変化—
42-3	小林 大介	看護師	東京都	大内病院精神科	A 精神科病院急性期病棟に勤務する熟練看護師が拒薬患者に適切な服薬行動を促すために実践している看護
42-4	平井 美夢	看護師	大阪府	緑水会病院	胃カテーテルの内腔汚染防止対策の比較検討～三種類のロック方法を試みて～
42-5	見城 恵美	看護師	群馬県	群馬パース病院	当院医療療養病棟における摂食嚥下障害を有する患者の傾向と今後の課題

43 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 看護②

【座長】伊藤裕二 緑成会病院 看護部 看護部長 看護師

【評価者】溝口由季 霞ヶ関南病院 看護部 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
43-1	矢野 真祐子	看護師	神奈川県	横浜鶴見リハビリテーション病院	高齢者の口腔からの食事摂取が及ぼす認知機能の影響と看護の実践～食べることは生きること～
43-2	董 東	看護師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	尿道留置カテーテル早期抜去の取り組みによる看護師の意識改善～カンファレンスとフローチャートの導入～
43-3	原 夕貴恵	看護師	和歌山県	宇都宮病院	療養病棟における拘縮・褥瘡予防のためのポジショニングに対する意識調査
43-4	瀬藤 真理子	看護師	北海道	札幌西円山病院	心不全による認知症の方が、赤ちゃん人形に発したコミュニケーションの意味について考察する
43-5	鹿熊 麗子	看護師	愛知県	常滑市民病院 6階回復期リハビリテーション病棟	回復期リハビリテーション病棟におけるペットボトルを用いた顎引き抵抗運動の導入

44 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10～16:00 看護③

【座長】吉永晶野 永生病院 看護部 主任 看護師

【評価者】井口朋子 富家病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
44-1	山口 清裕	看護師	福岡県	原土井病院	地域包括ケア病棟におけるケア統一を目指した取り組み～スタッフ間での情報共有方法の見直し～
44-2	辻井 規子	准看護師	兵庫県	北摂中央病院	高齢患者の生活習慣をいかした大好きなものを食す楽しみ (CV ポートを造設後)
44-3	手島 未伽	看護師	福岡県	水戸病院	空腸瘻閉塞を防ぐための取り組み
44-4	尾形 秀子	看護師	神奈川県	元気会横浜病院	ユマニチュードケアを実践した患者のBPSDと薬剤使用の変化
44-5	及川 恵理	看護師	北海道	札幌西円山病院 10病棟	食事摂取量の増加と褥瘡治癒により退院に至った認知症患者の看護—食事への意欲を向上するための関わり—

45 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00～16:50 看護④

【座長】下田優子 鶴巻温泉病院 看護部 科長 看護師

【評価者】伊藤裕二 緑成会病院 看護部 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
45-1	鈴木 愛美	看護師	千葉県	印西総合病院地域包括ケア病棟	A 病院 B 地域包括ケア病棟看護師のスキナーテアに対する認識と実践の実態
45-2	岩永 良太	看護師	佐賀県	志田病院	当院地域包括ケア病棟から退院した患者の再入院予防を目的とした関わり
45-3	渡邊 睦子	看護師	東京都	介護医療院 セントラル大田	介護医療院に於ける看護師の役割の一考察
45-4	川元 綾子	看護師	東京都	竹川病院看護部	高次脳機能障害患者の内服自己管理指導—患者の持てる力健康な力に着目した関わり—
45-5	松浦 聡子	看護師	広島県	島の病院おたに看護部回復期リハビリテーション病棟	看護部の心理的安全性の現状と課題～医療心理的安全性アセスメントを活用して～

46 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50~17:40 看護⑤

【座長】村松奈美 鶴巻温泉病院 看護部 科長 看護師

【評価者】山田智子 光風園病院 病棟科長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
46-1	廣田 美香	看護師	大阪府	多根第二病院	A 病棟看護師の経口摂取可能と判断する暗黙知について
46-2	舟倉 朱梨	看護師	鹿児島県	卓翔会記念病院看護部	退院指導にお薬カレンダーを使用してみた
46-3	秋庭 結佳	看護師	北海道	西円山病院看護介護部	思いの言語化が困難な認知症高齢者への全人的苦痛軽減の取り組み
46-4	林 千恵	看護師	山口県	宇部リハビリテーション病院看護部	嚥下チームにおける摂食嚥下障害患者に対する看護師の役割—嚥下カンファレンスシート活用を試みて—
46-5	加賀美 桃子	看護師	山梨県	恵信甲府病院看護部	当院における人工呼吸器使用患者の入浴への取り組み～患者の QOL 向上を目指して～

47 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40~18:20 看護⑥

【座長】山田智子 光風園病院 病棟科長 看護師

【評価者】吉永晶野 永生病院 看護部 主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
47-1	五郎丸 彩夏	看護師	山口県	脳神経筋センターよしみず病院	神経難病患者の看護に携わる病棟看護師のストレス要因
47-2	金城 尚希	准看護師	福岡県	原病院医療療養病棟	医療療養病棟における退院支援～多種連携の重要性と看護師の役割～
47-3	上原 佳奈	看護師	千葉県	富家千葉病院 看護部	気切管理に Y ガーゼは必要なのか～Y ガーゼを挟む以外のケアを試みて～
47-4	吉村 直子	看護師	広島県	ナカムラ病院	手指の動きを制限しにくいクラフトミトンの作製

第7会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

48 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 業務改善①

【座長】坂上祐樹 西宮回生病院 経営企画医師 医師

【評価者】秋田美樹 緑成会病院 薬剤部 部長 薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
48-1	飯田 聖良	理学療法士	東京都	あきしま相互病院リハビリテーション室	院内で腰痛予防体操を実施した結果と今後の検討
48-2	高橋 はるみ	看護師	千葉県	富家千葉病院	自動喀痰吸引器導入による吸引回数の変化と有用性について
48-3	小田垣 采奈	看護師	東京都	牧田リハビリテーション病院	アロマテラピーが夜勤勤務者の仮眠の質へおよびず影響
48-4	柏木 奈波	看護師	徳島県	保岡クリニック論田病院	働きやすい職場環境へ～職場のハラスメントの実態調査をもとに～
48-5	村田 久美	看護師	静岡県	掛川北病院介護医療院	アクションカードを使用し初期行動を行った防災訓練の成果～災害時の初期行動の意識向上を目指して～

49 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 業務改善②

【座長】山本徹 永生病院 法人本部 在宅総合ケアセンター 副センター長 言語聴覚士

【評価者】坂上祐樹 西宮回生病院 経営企画医師 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
49-1	石家 美智香	看護師	愛媛県	南高井病院	申し送りの廃止に向けた取り組み～意識改革で得られた事～
49-2	福岡 宏喜	介護福祉士	鳥取県	養和病院介護医療院	能登半島地震 被災地支援活動を経験して
49-3	鈴木 サユリ	看護師	静岡県	平安の森記念病院 2階 病棟	療養型病院における少人数受け持ち制チームナーシングへの挑戦～ケアの質の向上を目指して～
49-4	草野 謙二	理学療法士	福岡県	原病院リハビリテーション部	業務改善への取り組み～新人教育を通して～
49-5	鍛冶本 秀子	看護師	富山県	ふくの若葉病院	これからの人手不足に備え、労働環境改善の取り組みで職員の定着を図る

50 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10~16:00 業務改善③

【座長】秋田美樹 緑成会病院 薬剤部 部長 薬剤師

【評価者】伊藤憲次 世田谷記念病院 看護部 副看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
50-1	氏原 和樹	理学療法士	高知県	高知城東病院	当院のノーリフティングケア普及に向けた取り組み
50-2	下吉 茜	看護師	鹿児島県	吉田記念病院	内服の管理方法の改善によるスタッフへの負担軽減とインシデントの変化
50-3	花川 美紀	理学療法士	奈良県	奈良東病院リハビリテーション科	当病院の地域包括ケア病棟における Point Of Care を通して行った業務改善について
50-4	滝沢 広実	事務職	埼玉県	西部総合病院企画業務部 IT 推進室	稟議書の電子回覧から切り開く当グループにおける DX 推進
50-5	小坂 佑士	事務職	福岡県	高良台リハビリテーション病院	電子カルテのアクセスログ開示請求の対応

51 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00~16:50 業務改善④

【座長】阪口英夫 陵北病院 副院長 歯科医師

【評価者】山本徹 永生病院 法人本部 在宅総合ケアセンター 副センター長 言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
51-1	吉川 美妃	看護師	沖縄県	西崎病院	パンデミックから学ぶ地域連携型 BCP
51-2	山路 勇太	理学療法士	三重県	花の丘病院リハビリテーション科	令和6年能登半島地震における被災地支援活動報告~JRAT 隊員として~
51-3	岡野谷 恭子	看護師	長野県	轟病院	5S 活動による看護業務の改善
51-4	久保 昌範	看護師	広島県	ナカムラ病院	福祉用具を用いた入浴介助負担軽減へのアプローチ
51-5	堂免 知弘	放射線技師	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル トータルウェルネスセンター	健診による紙の使用削減「リデュース」活動ーペーパーレス化に向けての第一歩ー

52 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50~17:30 業務改善⑤

【座長】伊藤憲次 世田谷記念病院 看護部 副看護部長 看護師

【評価者】富野圭介 定山溪病院 薬剤科 科長 薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
52-1	井上 真彦	介護職	大阪府	多根第二病院 看護部	「もしも」は明日かも!? ~防災意識の向上を図り、不安を軽減しよう~
52-2	堀池 昌子	看護師	滋賀県	淡海ふれあい病院	職場環境の改善と多様な働き方の導入
52-3	川村 沙織	准看護師	高知県	上町病院介護医療院	医療介護現場に役立つ ICT 化への取り組み~業務改善から見える業務支援機器の必要性~
52-4	高浦 勝俊	理学療法士	千葉県	富家千葉病院リハビリテーション科	経験年数ごとの離職要因の分析とより良い職場環境の形成について~仲の良い同期と長く仕事をやる為に~

53 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40～18:20 業務改善⑥

【座長】富野圭介 定山溪病院 薬剤科 科長 薬剤師

【評価者】阪口英夫 陵北病院 副院長 歯科医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
53-1	増田 竜紀	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院 看護部	業務効率化を目指した介護・看護補助者委員会の取り組み～不潔リネン置き場の改善～
53-2	野村 美穂	理学療法士	福岡県	高良台リハビリテーション病院	妊娠や出産・育児による休業を経験したリハビリ職員が妊娠中や職場復帰時に希望する支援
53-3	高橋 里奈	管理栄養士	島根県	安来第一病院 栄養部	栄養課内でのグループによる改善の効果～ソフト食のハンバーグ調理の講習会を通して～
53-4	石橋 幸治	事務職	佐賀県	志田病院	マネジメントツールによる生活習慣病管理料の管理について

第8会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

54 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30～14:20 身体拘束廃止①

【座長】小川輝史 定山溪病院 リハビリテーション部 部長 作業療法士

【評価者】小坂靖子 京浜病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
54-1	池田 育美	作業療法士	福岡県	京町病院リハビリテーション科	抑制0を目指して～ファニーズカフェの取り組み～
54-2	小野 洋子	言語聴覚士	福岡県	京町病院 リハビリテーション科	身体抑制の解除に向けた取り組み
54-3	田村 亜希子	作業療法士	富山県	流杉病院リハビリテーション科	身体拘束解除と握り棒の見直し～3Rを意識した取り組み～
54-4	新名 早希子	社会福祉士	岡山県	倉敷スイートホスピタル 地域ケアセンター	身体拘束廃止に向けた取り組み～意識改革へのアプローチ～
54-5	桐石 和香	看護師	兵庫県	神戸平成病院	ミトン解除に向けた仕組みづくりを確立し患者の安全を守る

55 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 身体拘束廃止②

【座長】小坂靖子 京浜病院 看護部 部長 看護師

【評価者】小島恵理 内田病院 医療安全管理マネージャー 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
55-1	友田 千鶴	看護師	埼玉県	大宮共立病院	身体拘束廃止に向けた取り組み～カンファレンスの見直しをしてみよう～
55-2	近藤 朱菜	看護師	愛知県	安藤病院	認知症マフを使用したことによる介護医療院の看護・介護職の意識変化の調査
55-3	山中 弓子	看護師	北海道	定山溪病院看護部	身体拘束をしない関わりから見えたこと
55-4	トムソン 和美	看護師	大阪府	千里リハビリテーション病院	脱抑制のある患者への多職種協働チームでの関わり～画像診断から始まった身体拘束解除の試み
55-5	亀井 涼子	看護師	兵庫県	西宮回生病院	当院における認知症マフの導入とその有効性について

56 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10~16:00 排泄ケア①

【座長】須賀晴彦 富家千葉病院 院長 医師

【評価者】小川輝史 定山溪病院 リハビリテーション部 部長 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
56-1	小川 沢美	介護福祉士	長崎県	耀光リハビリテーション病院	医療療養病棟における排泄に関する個別指導の評価
56-2	小筆 未希	看護師	栃木県	宇都宮中央病院	慢性期病院における長期膀胱留置カテーテル抜去の成否の要因
56-3	椎木 一彦	医師	神奈川県	鶴巻温泉病院	当院での排尿自立支援活動の紹介と実績報告
56-4	茂木 恵理子	看護師	北海道	定山溪病院 5階B病棟	プレバイオテックス配合経管栄養剤変更前後の患者の排便状況変化と今後の排泄ケアに向けての課題
56-5	森本 由見	看護師	兵庫県	めいわりハビリテーション病院、療養病棟	下剤に頼らない排便コントロール

57 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00～16:50 排泄ケア②

【座長】前田真宏 光風園病院 病棟科長 看護師

【評価者】須賀晴彦 富家千葉病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
57-1	佐々木 智博	介護福祉士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	患者にとってよりよいオムツのあて方を目指して
57-2	渡邊 勇輝	介護福祉士	埼玉県	富家病院看護部介護	オムツ交換の回数削減の有効性～現状にとらわれない改善～
57-3	高木 愛子	介護福祉士	千葉県	総泉病院 特殊疾患病棟	オムツマイスター研修を導入して
57-4	大黒 美幸	管理栄養士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院栄養科	慢性便秘症を対象とした食物繊維高配合流動食摂取による排便ケアの変化に関するアンケート結果
57-5	谷上 彰啓	理学療法士	静岡県	東名裾野病院	多職種連携による排泄誘導での関わりにより不穩の改善や自力経口摂取の再開ができた症例

58 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50～17:40 医療安全・事故対策①

【座長】小島恵理 内田病院 医療安全管理マネジャー 看護師

【評価者】椎木一彦 鶴巻温泉病院 泌尿器科 医長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
58-1	目黒 浩昭	医師	栃木県	日光野口病院 診療部	透析患者に対する HIV 検査の標準化に向けた取り組み～スティグマ (偏見) を解消する試み～
58-2	長田 尚久	理学療法士	富山県	北陸中央病院	当院リハビリ技術科におけるインシデントレポートの調査報告
58-3	藤巻 健悟	理学療法士	愛媛県	南高井病院	“確認作業を確実にするために” ～投薬業務に着目したインシデント分析からわかった課題と対策～
58-4	魚住 絵里奈	看護師	岡山県	柴田病院 介護医療院	病棟で取り組んだ災害対策～停電時の体験談を参考に試みた事～
58-5	原田 早規	看護師	福岡県	原病院 回復期病棟	転倒・転落防止対策の為の動作確認表の作成と実践

59 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40~18:30 医療安全・事故対策②

【座長】坂本信一 多摩川病院 看護部 看護部長 看護師

【評価者】前田真宏 光風園病院 病棟科長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
59-1	鈴木 颯太	理学療法士	愛知県	福祉村病院リハビリテーション部	当院の転倒・転落防止に向けた取り組み
59-2	竿 美紀子	介護職	千葉県	富家千葉病院	腰痛予防対策～アシストスーツを使ってみて～
59-3	常味 良一	看護師	群馬県	美原記念病院 医療安全管理室	医療安全管理者による入院患者の骨折件数減少に向けた取り組み
59-4	竹田 裕	理学療法士	兵庫県	介護老人保健施設ふるさとの家	DBD (認知症行動障害尺度) と転倒の関連性
59-5	鈴木 章吾	言語聴覚士	東京都	永生病院リハビリテーション部	当院リハビリテーション部におけるインシデントアクシデントレポート分析から見えた成果と課題

第9会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

60 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 介護①

【座長】半村亜由美 富家千葉病院 看護部 部長 看護師

【評価者】加藤真ノ介 介護医療院湖東病院 介護課長 介護職員

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
60-1	英 加那子	介護福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院	ピクトグラムを用いた介護、看護、リハビリの連携
60-2	安東 史郎	介護福祉士	福岡県	杉病院 医療療養病棟	夜間排便によるオムツ交換減少に向けて一看護師と取り組んでみえてきたことー
60-3	柴田 遥	介護福祉士	兵庫県	小規模多機能型居宅あそか苑ももは	スペシャリスト制度運用による福祉用具の活用
60-4	ゴティキムハン	介護職	広島県	ナカムラ病院	私たちが介護職員としてこの病院に勤務していること
60-5	川崎 広美	介護職	大阪府	多根第二病院	慢性期病院における TQM 活動についてーおむつフィットでみんな HAPPYー

61 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20～15:10 介護②介護施設①

【座長】米内ミユキ 於本病院 看護部 部長 看護師

【評価者】半村亜由美 富家千葉病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
61-1	堀場 真弓	介護福祉士	静岡県	静岡徳洲会病院 看護部	多職種連携による療養生活の質の向上を目指す取り組み
61-2	近藤 直樹	介護福祉士	高知県	高知城東病院	介護職が介護に専念するために～病棟補助スタッフを採用して～
61-3	原田 美紀	介護福祉士	鹿児島県	ヘルパーステーション 国分中央	認知症高齢者の在宅生活における訪問介護の重要性
61-4	長嶋 礼子	介護職	東京都	信愛病院	安全に食事を摂取するための可視化カード作成への試み～義歯装着忘れによる誤嚥ゼロを目指して (第1報) ～
61-5	田中 薫	介護福祉士	埼玉県	特別養護老人ホーム 志木瑞穂の森 介護課	排泄介助の回数を減らしたらどうなるのか！～睡眠の質向上と業務改善を目指して見えてきたもの～

62 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10～16:00 介護医療院①

【座長】加藤真ノ介 介護医療院湖東病院 介護課長 介護職員

【評価者】河野佳苗 有吉病院 介護医療院 主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
62-1	青羽 美奈	医療ソーシャルワーカー	千葉県	初富保健病院介護医療院	個別アクティビティ・ケアを取り入れた効果～介護医療院の更なる可能性の拡大について～
62-2	佐々木 桃花	介護福祉士	福岡県	北九州八幡東病院 介護医療院	リスクマネジメント力の向上を目指した転倒転落予防の取り組み
62-3	大前 友希	理学療法士	奈良県	奈良東病院	医療病棟から介護医療院入所に際する情報共有の取り組みについて
62-4	佐伯 拓磨	理学療法士	北海道	洞爺温泉病院 リハビリテーション課	介護医療院におけるボツリヌス療法導入とその効果～3症例報告を通じて～
62-5	佐藤 仁美	医師	山梨県	城東病院介護医療院	LIFEがもたらしたもの～フィードバックの活用について～

63 (ポスター) 11月14日 (木) 16:00~16:50 介護医療院②

【座長】重盛一樹 吉田記念病院 介護支援専門員

【評価者】米内ミユキ 於本病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
63-1	衛藤 奈美子	看護師	福岡県	水戸病院	自宅での生活をめざして、支え寄り添う医療と介護～お母さん 桜が咲く頃 家に帰ろう～
63-2	西村 良	理学療法士	新潟県	介護医療院豊浦老番館	ケア時の骨折予防に向けた多職種での取り組み～骨折危険度判定表の作成と活用を通じて～
63-3	井口 奈々子	作業療法士	東京都	介護医療院セントラル大田	短期集中リハビリ前後のADL変化について
63-4	松本 和	理学療法士	神奈川県	元気会横浜病院 リハビリテーション課	介護医療院における循環器疾患を有する利用者の特徴
63-5	吉村 仁美	理学療法士	神奈川県	元気会 横浜病院リハビリテーション課	介護医療院を退所した利用者の転帰先別における特徴と共通点

64 (ポスター) 11月14日 (木) 16:50~17:40 介護医療院③

【座長】河野佳苗 有吉病院 介護医療院 主任 看護師

【評価者】池田八重子 介護医療院湖東病院 看護部 主任 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
64-1	工藤 浩二	介護福祉士	秋田県	由利本荘医師会病院介護医療院	口腔ケアの取り組みへの報告
64-2	松本 明美	介護福祉士	長崎県	介護医療院恵愛荘	看取りケアの質の向上に向けた意識と評価～10年間の取り組みで見えてきたもの～
64-3	吉田 良子	作業療法士	福岡県	新栄会病院 介護医療院 リハビリテーション課	介護医療院での取り組み～調理リハビリを実施して～
64-4	鈴木 佳月	言語聴覚士	北海道	愛全病院 リハビリテーション部	経口摂取の可能性を見逃さないために～介護医療院におけるリハビリと多職種の協業～
64-5	佐々木 大介	言語聴覚士	福井県	介護医療院かがやき診療支援部リハビリテーション科	経口維持支援における伝達方法と介助方法の統一化

65 (ポスター) 11月14日 (木) 17:40~18:30 介護医療院④

【座長】池田八重子 介護医療院湖東病院 看護部 主任 看護師

【評価者】重盛一樹 吉田記念病院 介護支援専門員

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
65-1	石川 朝子	作業療法士	北海道	札幌西円山病院 リハビリテーション部	介護医療院における短期集中リハ実施者のADL改善と栄養状態の関係は？
65-2	田宮 浩司	言語聴覚士	愛知県	介護医療院名南ふれあい病院リハビリテーション課	介護医療院におけるSTの介入と看取り事例ー末梢点滴から3食経口摂取へ至った事例ー
65-3	加藤 妙	歯科衛生士	福井県	介護医療院かがやき看護・介護部	脳出血後の唾液流涎過多が改善された一例ー慢性期から始められる口腔アプローチー
65-4	西山 奈美	看護師	岡山県	玉島病院介護医療院	介護医療院におけるアサーティブコミュニケーションからすすめるヘルシーワークプレイスの実現
65-5	橋本 理絵	管理栄養士	東京都	永生病院 介護医療院 栄養科	介護医療院での栄養管理ー週3回の食事観察は栄養状態の改善につながるのかー

第10会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G320)

66 (ポスター) 11月14日 (木) 13:30~14:20 栄養マネジメント

【座長】國見友恵 鶴巻温泉病院 栄養課科長 管理栄養士

【評価者】草地由和 世田谷記念病院 薬剤部 主任 薬剤師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
66-1	下田 久美	管理栄養士	千葉県	いけだ病院 栄養科	訪問栄養指導の取り組み
66-2	岡部 貴代	管理栄養士	東京都	永生病院医療技術部栄養科	当院における栄養情報提供書作成の取り組みと課題
66-3	濱田 実来	理学療法士	大阪府	堺平成病院リハビリテーション部	タンパク質の摂取のタイミングの違いが身体機能・日常生活動作の改善に及ぼす影響
66-4	林 美保子	理学療法士	福島県	福島寿光会病院リハビリテーション科	慢性期病棟における高齢入院患者の栄養状態と生命予後との関係
66-5	佐藤 清美	管理栄養士	東京都	京浜病院	イベント食がもたらすメリット職員にも好評『ひるDONプロジェクト』

67 (ポスター) 11月14日 (木) 14:20~15:10 口腔ケア

【座長】山本史子 芳珠記念病院 歯科口腔外科 医長 歯科医師

【評価者】國見友恵 鶴巻温泉病院 栄養課科長 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
67-1	三浦 万里	看護師	栃木県	とちぎメディカルセンター とちのき 看護部	A 病院療養病棟における口腔ケアの現状—独自に作成したアンケートを用いて—
67-2	小川 けい	言語聴覚士	兵庫県	平成病院リハビリテーション課	地域在住高齢者におけるオーラルフレイルのコーチング介入に関する予備的調査
67-3	安斉 美空	看護師	東京都	多摩川病院	A 病院 B 病棟看護師における認知症患者に対する口腔ケアの質向上への取り組みの有効性
67-4	山根 次美	歯科衛生士	広島県	ナカムラ病院	開口障害を有する認知症患者の口腔清掃介助時における病棟職員による 2 列歯ブラシ使用の検証
67-5	矢作 有紀	看護師	東京都	平成扇病院 看護部	A 病院 B 病棟における看護師が実践する口腔ケアの質向上に向けた取り組み

68 (ポスター) 11月14日 (木) 15:10~16:00 薬剤

【座長】草地由和 世田谷記念病院 薬剤部 主任 薬剤師

【評価者】山本史子 芳珠記念病院 歯科口腔外科 医長 歯科医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
68-1	秋山 幸子	薬剤師	神奈川県	鶴巻温泉病院診療技術 部薬剤科	慢性期病院における緩和ケアの提供～薬剤師の活動・介入を中心に～
68-2	三友 由華	薬剤師	埼玉県	大宮共立病院	回復期病棟でのリハビリテーション栄養チームにおける薬剤師の関わり
68-3	千葉 皓絵	薬剤師	埼玉県	大宮共立病院	当院における病棟薬剤業務の現状と今後の課題
68-4	橋本 竜	薬剤師	東京都	みなみ野病院 薬剤科	医療療養病棟における病棟薬剤師による処方介入の実態とその意義
68-5	城田 由紀	薬剤師	福岡県	原土井病院	薬物療法の適正化を目標としたポリファーマシー活動

一般演題

11月15日 (金)

第2会場 (パシフィコ横浜ノース 1F G2)

69 (PC) 11月15日 (金) 9:00~10:00 慢性期医療 (治療) ④感染症③

【座長】山田陽 札幌西円山病院 院長 医師

【評価者】加藤ひとみ 博愛記念病院 看護部 看護部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
69-1	恵美 宣彦	医師	愛知県	並木病院内科	慢性期病院における専門領域疾患の病病連携—造血管腫瘍疾患の受け入れ経験—
69-2	安田 広樹	医師	熊本県	桜十字病院呼吸器内科	急性期治療後の人工呼吸器管理
69-3	和田 純治	医師	大分県	和田病院	ケアミックス病院における経管栄養法のツールとしての経皮経食道胃管挿入術 (PTEG) の検討
69-4	中尾 健太郎	医師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 総合診療部	慢性便秘症患者に対する食物繊維高配合流動食の効果
69-5	小森 將史	医師	東京都	まちだ丘の上病院	まちだ丘の上病院 (療養病床) での絶食患者への食事摂取再開率と、食上げに伴う誤嚥性肺炎発症率の検討
69-6	安部 嘉男	医師	大阪府	多根第二病院	多剤耐性 α 溶血性連鎖球菌感染症による誤嚥性肺炎の脅威について

70 (PC) 11月15日 (金) 10:00~11:00 介護③

【座長】田之上恵子 札幌西円山病院 看護介護部 副部長 看護師

【評価者】山田陽 札幌西円山病院 院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
70-1	織田 真由	看護師	東京都	介護老人保健施設 ライフサポートねりま	幸せな施設生活を送るためのケアの提供～ペラング園芸で幸せホルモンの分泌を促進する～
70-2	森 竜太	介護福祉士	静岡県	介護老人保健施設しおさい 入所部門	3階ご利用者における思い出ノートを活用した親身な対応の提供
70-3	服部 結実恵	介護福祉士	三重県	長島中央病院	食事介助における意識の変化
70-4	中岡 祐浩	作業療法士	兵庫県	特別養護老人ホームあそか苑	安全な食事介助のために、特別養護老人ホームで ECS を導入した結果の報告
70-5	西元 寛	理学療法士	埼玉県	富家デイサービスセンター 苗間	行動変容ステージモデルに着目し運動嫌いの利用者が自主トレーニングを習慣化した症例
70-6	小松 憲一	社会福祉士	大分県	住宅型有料老人ホーム 和楽苑	『接遇力』向上への取り組み

71 (PC) 11月15日 (金) 11:00～12:00 看護⑦

【座長】加藤ひとみ 博愛記念病院 看護部 看護部長 看護師

【評価者】荒木優子 千里リハビリテーション病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
71-1	大下 道子	看護師	東京都	社会医療法人若竹会	単独型の介護医療院における特定看護師の果たす役割 安全な胃ろう交換をめざして
71-2	安部 斗与	看護師	兵庫県	園田病院	経管栄養 1日2回投与経験に基づく医療・介護従事者を対象としたアンケート調査
71-3	松本 晃子	看護師	大阪府	藍野大学 医療保健学部 看護学科	嚥下障害をもつ長期療養患者と家族を対象とした食事体験がもたらす影響—インクルーシブフードを用いて—
71-4	田中 潤	看護師	佐賀県	山元記念病院看護部	特定行為が安全な医療・看護に繋がった症例～気管カニューレ閉塞患者の対応～
71-5	久保田 靖子	看護師	静岡県	きせがわ病院	地域包括ケア病棟での退院支援に向けた教育支援～退院支援のプロセスに関わる意図的な教育支援を実施して～
71-6	中村 祥子	看護師	大阪府	千里リハビリテーション病院	慢性期医療、リハビリテーションの視点は災害支援現場でも活かせる～能登半島地震災害支援を通して～

72 (PC) 11月15日 (金) 13:20～14:10 看護⑧

【座長】荒木優子 千里リハビリテーション病院 看護部 部長 看護師

【評価者】田之上恵子 札幌西円山病院 看護介護部 副部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
72-1	中川 早弓	看護師	広島県	ナカムラ病院	4人のケア提供者による認知症高齢者患者との関わり
72-2	加田 きよ美	看護師	愛知県	小林記念病院外来診療科	AI問診導入による業務効率変化を考える
72-3	大和 佳代子	看護師	滋賀県	淡海ふれあい病院 看護局	看護師と介護福祉士のペア制の導入効果
72-4	佐藤 友美	看護師	長崎県	南野病院 看護部	療養病棟における看護師の看護観と現実～看護の質向上に向けた取り組み～
72-5	上田 真愉未	看護師	大阪府	照葉の里箕面病院 看護部	療養型中規模病院での全職種・全職員を対象とした臨床倫理研修への取り組み

第3会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G303+G304)

73 (PC) 11月15日 (金) 9:00~10:00 地域包括ケアシステム

【座長】井出大 永生病院 法人本部 広報連携・地域支援事業部 部長代理 理学療法士

【評価者】中野雄介 みなみ野病院 統括事務部長 事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
73-1	上田 裕一	事務職	島根県	社会医療法人仁寿会	医師代替者による医療 MaaS 診療の有用性の検証—令和6年度経産省地域新 MaaS 創出推進事業概要
73-2	窪田 昌行	NPO 法人 事務局長	福岡県	特定非営利活動法人高齢者健康コミュニティ	地域包括ケアシステムのモデルとなる日本版 CCRC の構築に向けて
73-3	大迫 尚仁	理学療法士	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル事務部	当院の地域包括ケアシステム構築に向けた地域活動について
73-4	徳永 映里菜	理学療法士	東京都	多摩緑成会病院 リハビリテーション部	小平市における通いの場『フレトレ』の主な活動拠点と活用率の比較
73-5	寺島 幸枝	社会福祉士	神奈川県	鶴巻温泉病院地域連携室	当院における「身寄りのない人の入院受け入れプロジェクト」に関する実践報告
73-6	村山 秀人	精神保健福祉士	東京都	鶴川サナトリウム病院 医療相談室	認知症初期集中支援チームによる認知症の人の意思決定支援

74 (PC) 11月15日 (金) 10:00~11:00 その人らしさの尊重

【座長】新谷英夫 堺平成病院 名誉院長 医師

【評価者】井出大 永生病院 法人本部 広報連携・地域支援事業部 部長代理 理学療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
74-1	大山 善久	理学療法士	東京都	青梅三慶病院リハビリテーション科	集団活動と足浴がもたらす効果について～認知・心理的側面、身体反応に問題を抱えた症例を経験して～
74-2	堀田 真紀	看護師	東京都	立川中央病院 回復療養病棟	アロマセラピートリートメントによる心理的作用・薬理的作用・タッチングの効果の検証
74-3	佐藤 和	看護師	宮城県	石巻健育会病院 看護部	患者の主観的幸福度向上のための「笑い」を取り入れた活動の報告
74-4	小山 亮子	看護師	香川県	橋本病院	重症症例の在宅支援を経験して～家族指導を中心に～
74-5	堀口 祐子	看護師	北海道	花川病院 回復期リハビリテーション科	脳梗塞後の不穏状態からの回復、自宅退院を実現できた一事例～ご家族の意思決定を尊重して～
74-6	大野 拓司	言語聴覚士	兵庫県	平成病院リハビリテーション科	社会的ひきこもり状態の患者に「教育支援計画アプリ (ADOC-S)」を用い意思決定支援を行った1症例

75 (PC) 11月15日 (金) 11:00～12:00 慢性期医療の質の向上②

【座長】平尾徹 橋本病院 院長 医師

【評価者】大谷祐之 富家病院 地域総合診療専門研修指導医 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
75-1	藤澤 茂和	看護師	栃木県	日光野口病院 看護部	身体拘束が本当に必要なのだろうか？医療安全と人権擁護の対立図式の克服～学習し続ける組織であるために～
75-2	高田 千春	看護師	茨城県	土浦リハビリテーション病院 介護医療院	身体拘束の解除に向けた多職種の取り組み
75-3	岩崎 泰智	理学療法士	愛媛県	HITO 病院リハビリテーション部	身体抑制ゼロへの取り組みと課題～多職種協働セルケアシステム®と ICT を活用した連携～
75-4	幡野 克仁	理学療法士	青森県	尾野病院	転倒転落アセスメントスコアシート運用経過とベッド周囲環境設定フローチャートについて
75-5	大淵 靖世	看護師	福島県	いわき湯本病院	褥瘡予防のためのシステム構築に向けて～褥瘡の早期発見と早期改善を目指して～
75-6	永石 朋美	看護師	大分県	和田病院 急性期	病院と在宅で情報共有しながら、難治性褥瘡が治癒した1症例

76 (PC) 11月15日 (金) 13:20～14:20 在宅医療・看護②ターミナルケア・緩和ケア④訪問(在宅)リハビリテーション①

【座長】大谷祐之 富家病院 地域総合診療専門研修指導医 医師

【評価者】新谷英夫 堺平成病院 名誉院長 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
76-1	大池 佳代子	看護師	愛知県	安藤病院	ACP への取り組み「もしバナゲーム」の実施が看護・介護職の ACP-Engagement・死生観に及ぼす影響
76-2	瀬戸 景子	准看護師	千葉県	佐倉厚生園病院看護部	療養病棟におけるお看取りの徴候の時期別特徴
76-3	濱 雄祐	言語聴覚士	北海道	聖ヶ丘病院リハビリテーションセンター	あなたは最期に誰とどこで何を食べますか 第2報～利用者と家族と過ごす思い出の1ページ～
76-4	小田切 明子	管理栄養士	長野県	轟病院	嚥下障害を有する患者における自宅療養の食支援の一例～病院管理栄養士の在宅介入～
76-5	吉川 友香里	理学療法士	大阪府	日本橋 老人訪問看護ステーション 看護部	在宅での状況や行動の記録を促した結果、行動変容が得られた PD の一症例
76-6	柴田 岳人	理学療法士	東京都	多摩川病院	生活動作改善と在宅生活継続に対して当院訪問リハビリと他居宅サービス併用の効果

第4会場 (パシフィコ横浜ノース 1F G1)

77 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 理学療法①

【座長】安齋登紀子 総泉病院 リハビリテーション部 主任 理学療法士

【評価者】貴志千秋 桜ヶ丘病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
77-1	浜中 貢輔	理学療法士	徳島県	徳島平成病院	軽度認知症及び軽度認知障害を有する入院患者に対する Physibo Gait の即時効果の検証
77-2	磯 侑典	理学療法士	神奈川県	訪問ステーションてとてと戸塚 訪問看護部	立ち上がりテストから体重支持指数を用いた運動強度を設定した症例：症例報告
77-3	和田 征暢	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院リハビリテーション部	大腿骨人工骨頭置換術後、骨盤側方移動、Trendelenburg 徴候に対し股関節外転位の荷重練習を行なった一症例
77-4	河瀬 美希	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院 リハビリテーション部	脳卒中患者に対するニーリングを中心とした体幹機能訓練の歩行への影響：症例報告
77-5	秋元 裕弥	理学療法士	富山県	流杉病院リハビリテーション科	頸椎調整器具 C1 アジャスターを用い肩甲帯周囲の筋緊張緩和がみられた一症例
77-6	上田 ユミ	理学療法士	島根県	仁寿苑	当法人における理学療法士学生に対する診療参加型臨床実習～満足度の高い実習のための取り組み報告～

78 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 理学療法②

【座長】柳川竜一 セントラル病院 リハビリテーション科 主任 理学療法士

【評価者】坂本信一 多摩川病院 看護部 看護部長 看護師

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
78-1	渡邊 央	理学療法士	福岡県	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室	血液透析時の運動療法により身体機能の向上と行動変容を認めた外来透析患者の一例
78-2	渡部 佑実	理学療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	患者様のキャラクターに対応した介入により車椅子からベッドへの移乗を獲得した症例
78-3	加藤 聡	理学療法士	福岡県	聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室	失語症を有する脳卒中片麻痺患者に下肢荷重計「そくまる」の使用が歩行能力向上に寄与した一例
78-4	野村 一樹	理学療法士	大阪府	淀川平成病院リハビリテーション部	回復過程に合わせた段階的な装具療法により歩行自立に至った脳卒中事例
78-5	赤熊 優花	理学療法士	香川県	橋本病院 リハビリテーション部	重度脊髄損傷患者が起立動作の反復と装具療法により、改良 Frankel 分類 A から D1 へ改善を認めた一症例
78-6	山本 大輔	理学療法士	静岡県	新富士病院	早期離床を目指すために～足関節背屈可動域に着目～

79 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:00 理学療法③

【座長】貴志千秋 桜ヶ丘病院 リハビリテーション科 科長 理学療法士

【評価者】柳川竜一 セントラル病院 リハビリテーション科 主任 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
79-1	大庭 和也	理学療法士	静岡県	東名裾野病院リハビリテーション課	足底感覚低下に伴う歩行障害に対し、ハーフスクワットが有効であった一例
79-2	青木 皆人	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院 セラピー部	1年間で2回転倒し2度の骨折を呈した超高齢者の屋外杖歩行獲得に向けて
79-3	村田 彩加	理学療法士	熊本県	桜十字病院リハビリテーション部	ろうあ者に対し視覚情報を活用して歩行を獲得した症例
79-4	野口 卓也	理学療法士	東京都	立川中央病院	人工膝関節全置換術後の歩行補助具に関する予測因子
79-5	永山 沙耶	理学療法士	千葉県	富家千葉病院リハビリテーション室	脳損傷例のM-FIMの予後予測立案における経験年数の差
79-6	南野 華	理学療法士	石川県	芳珠記念病院リハビリテーション室	強心薬離脱まで2ヶ月を要したが自宅退院に至った高齢うっ血性心不全の一症例

80 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 理学療法④

【座長】小林昂将 緑成会病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

【評価者】山口拓也 鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 係長 作業療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
80-1	小野満 風斗	理学療法士	千葉県	印西総合病院リハビリテーション部	化膿性脊椎炎を発症し、CRPと疼痛の減少に応じてリハ負荷量を上げ、60日で退院できた症例：症例報告
80-2	加須屋 祐斗	理学療法士	埼玉県	南部厚生病院 リハビリテーション科	著明な筋緊張亢進・拘縮を呈した症例のポジショニング効果
80-3	榮田 翔太	理学療法士	群馬県	内田病院	地域在住高齢者の骨格筋指数と生活習慣・健康状態の関連性の検討～サルコペニア予防と早期発見を目指して～
80-4	村松 優仁	理学療法士	静岡県	すずかけヘルスケアホスピタルリハビリテーション技術部	医療療養病棟における高齢者肺炎患者に対する早期リハビリテーション介入の効果検証
80-5	山口 恵汰	理学療法士	埼玉県	富家病院リハビリテーション室	当院透析患者に対し、透析日に電気刺激装置(G-TES)を用いた運動療法の導入と効果
80-6	諸江 伸龍	理学療法士	東京都	永生病院リハビリテーション部	理学療法士による喀痰吸引の実施について

81 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 理学療法⑤作業療法①

【座長】藤田慎一郎 倉敷スイートホスピタル リハビリテーションセンター センター長 理学療法士

【評価者】小林昂将 緑成会病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
81-1	濃畑 陽二郎	理学療法士	千葉県	印西総合病院リハビリテーション部	重症筋無力症を有した症例に対し、有酸素運動を中心とした運動療法の効果：症例報告
81-2	小林 啓太	理学療法士	埼玉県	富家病院リハビリテーション室	透析中のポジショニングに着目した、誤嚥性肺炎予防
81-3	井上 穂乃香	理学療法士	山梨県	恵信甲府病院 リハビリテーション部	認知症患者における大腿周径と日常生活活動(以下 ADL) との関連性
81-4	石田 将大	理学療法士	東京都	医療法人社団大和会	統合失調症患者に対し意欲向上とストレス軽減に考慮し運動習慣の定着を図った症例
81-5	柴田 紗彩	理学療法士	石川県	芳珠記念病院リハビリテーション室	運動負荷を考慮しながら長期の介入を行い、仕事復帰を果たした重症肺化膿症の一症例
81-6	板東 里奈	作業療法士	徳島県	中洲八木病院 リハビリテーション部	食べる喜びの再獲得により社会性が向上した一例

82 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:00 作業療法②

【座長】山口拓也 鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 係長 作業療法士

【評価者】藤田慎一郎 倉敷スイートホスピタル リハビリテーションセンター センター長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
82-1	松本 華世	作業療法士	富山県	公立南砺中央病院	療養病棟で意味のある作業の提供により患者の主体性を尊重した取り組み
82-2	林 広野	作業療法士	香川県	橋本病院 リハビリテーション部	自発性低下・重度 ADL 低下した症例に対し、趣味・仕事の作業活動で ADL・上肢機能が向上した 1 症例
82-3	岩崎 竜也	作業療法士	香川県	橋本病院	にんにく栽培の再獲得を目指し、生活行為向上マネジメントを用いた症例
82-4	平井 翔也	作業療法士	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	重度四肢麻痺を呈した療養病棟患者に対して代償手段を用いた支援により家族との晩酌の実現に至った経験
82-5	三浦 麻由	作業療法士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	リハビリ・離床拒否から意味のある作業を通して、FIM 改善と笑顔が見られた症例
82-6	田村 拳士朗	作業療法士	大阪府	淀川平成病院リハビリテーション部	パーキンソン病患者へ自己管理の促進を行い、疾病受容に影響し行動変容を生じて自宅退院に至った事例

83 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 作業療法③

【座長】谷村公朗 光風園病院 リハビリテーション科 科長 作業療法士

【評価者】前田博子 千里リハビリテーション病院 セラピー部 サブコーチ 言語聴覚士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
83-1	猪俣 夕貴	作業療法士	千葉県	富家千葉病院リハビリテーション室	回復期病棟における～排尿・排便管理とトイレ・動作能力との関係～
83-2	橋本 梨花	作業療法士	三重県	花の丘病院リハビリテーション科	高次脳機能障害者への運転支援の取組み～1例の経験課題～
83-3	清河 華月	作業療法士	滋賀県	近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター	介護医療院で、少しでも自分らしさのある生活を取り戻す作業療法の関わり
83-4	深山 温	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	～身体面・環境面からの介入で食事の介助量が軽減した高位頸髄損傷症例～
83-5	東條 留奈	作業療法士	香川県	橋本病院リハビリテーション科	「意味のある作業」により上肢機能の向上と抑うつ症状の改善がみられた一症例
83-6	小柴 歩美	作業療法士	神奈川県	横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 リハビリテーション科	作業の結びつきを意識した支援をした事が病棟 ADL の拡大と今後の生活の認識に至った一例

84 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 作業療法④

【座長】伊藤啓史 緑成会病院 リハビリテーション部 係長 作業療法士

【評価者】谷村公朗 光風園病院 リハビリテーション科 科長 作業療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
84-1	菅原 光晴	作業療法士	神奈川県	ふじの温泉病院	同名半盲が半側空間無視の回復に与える影響
84-2	佐藤 愛子	作業療法士	東京都	多摩川病院リハビリテーション科	回復期入院患者における入浴動作自立判定と認知機能評価の関連
84-3	後藤 千沙	作業療法士	静岡県	熱川温泉病院リハビリテーション部	注意機能向上により経口摂取に繋がった事例
84-4	関井 美祈	作業療法士	東京都	平成扇病院リハビリテーション科	リハビリ介入拒否があり肺炎を繰り返す患者に対して作業活動を行い、3食経口摂取可能になった症例報告
84-5	田伏 啓吾	作業療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	日常生活動作への目標共有と正のフィードバックによりアドヒアランスが向上したアパシー症例
84-6	佐々木 玲於奈	作業療法士	島根県	安来第一病院 作業療法科	APO-15 を用いて価値のある作業に関与したことで役割獲得、意欲の向上に繋がった長期入院中の事例

85 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:10 言語聴覚療法

【座長】前田博子 千里リハビリテーション病院 セラピー部 サブコーチ 言語聴覚士

【評価者】伊藤啓史 緑成会病院 リハビリテーション部 係長 作業療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
85-1	高原 主真	言語聴覚士	大阪府	千里リハビリテーション病院	両側前頭葉皮質下出血により重度コミュニケーション障害、摂食嚥下障害を呈した症例に対するSTの取り組み
85-2	大西 大聖	言語聴覚士	京都府	嵯峨野病院 診療部 リハビリテーション	感情失禁の減少により発語量が増加した失語症患者の一例
85-3	萩原 美帆子	言語聴覚士	埼玉県	武南病院リハビリテーション科	表記不能型ジャルゴンを呈した一例に関する考察
85-4	堀田 明人	言語聴覚士	奈良県	奈良東病院リハビリテーション科	穴あきスピーチバルブを用いる事で安定した呼吸・発話練習が可能となった2症例
85-5	牟田 実穂	言語聴覚士	熊本県	阿蘇温泉病院 リハビリテーション科	多職種連携が行えた事で舌垂全摘術後患者が在宅復帰に至った一例
85-6	古川 友美子	言語聴覚士	和歌山県	中谷病院リハビリテーション科	気管切開と人工呼吸器管理下で経口摂取が可能となった超高齢者の1例
85-7	青木 健太	言語聴覚士	和歌山県	中谷病院リハビリテーション科	完全側臥位法にて直接訓練を継続しリクライニング姿勢での経口摂取が可能となった意識障害の1例

第5会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G302)

86 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 リハビリテーション全般①

【座長】石原拓郎 鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 科長 理学療法士

【評価者】石森卓矢 美原記念病院 リハビリテーション部 副部長代行 作業療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
86-1	岩田 裕太郎	理学療法士	愛知県	並木病院	養成校からの実習生受け入れ方法～スタッフの負担を軽減し、効果的な実習経験のための取り組み～
86-2	石川 慎二	理学療法士	大阪府	阪和第二泉北病院リハビリテーション部	COVID-19 後遺症に対するリハビリテーション入院の効果
86-3	空屋 陽望	理学療法士	静岡県	介護老人保健施設 三方原ベテルホーム リハビリテーション課	終末期の認知症高齢者に対する理学療法士の食支援—日常の関わりから本人の意思を汲み取った事例—
86-4	細野 健太	理学療法士	山口県	光市立光総合病院リハビリテーション科	脊椎圧迫骨折患者の入院時 CONUT 値が退院先に及ぼす影響
86-5	判多 勇也	理学療法士	富山県	北陸中央病院リハビリ技術科	脆弱性骨折患者の傾向分析から介護予防事業における効果的なハイリスクアプローチの検討
86-6	河面 雅俊	理学療法士	滋賀県	良善会ひかり病院リハビリテーション科	慢性期入院患者における Revised Version of the Ability for Basic Movement Scale の信頼性と妥当性の検証

87 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 リハビリテーション全般②

【座長】河野博之 大久野病院 リハビリテーション部 理学療法科 科長 理学療法士

【評価者】石原拓郎 鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 科長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
87-1	古賀 園絵	理学療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院リハビリテーション部	地域包括ケア病棟における CARB の取り組み
87-2	西川 裕貴	理学療法士	熊本県	愛・ライフ内牧 リハビリテーション科	重度要介護者に対するの自宅退所に向けた取り組みの一例
87-3	富居 泰臣	作業療法士	北海道	札幌西円山病院 リハビリテーション部	転倒を繰り返すパーキンソン病患者における転倒恐怖と内受容感覚の関連
87-4	平田 菜々穂	言語聴覚士	熊本県	桜十字病院 リハビリテーション部	誤嚥性肺炎後に絶食から3食経口摂取を獲得できた多系統萎縮症例—廃用症候群に対する包括的アプローチ—
87-5	朝本 成奎	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	背面開放座位が認知機能および注意機能へ与える影響
87-6	田中 大知	理学療法士	京都府	嵯峨野病院 診療部 リハビリテーション	体調変化後の早期離床再開における評価シート活用の取り組み

88 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:00 リハビリテーション全般③

【座長】石森卓矢 美原記念病院 リハビリテーション部 副部長代行 作業療法士

【評価者】河野博之 大久野病院 リハビリテーション部 理学療法科 科長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
88-1	梅原 靖孝	理学療法士	北海道	定山溪病院 リハビリテーション部	当院呼吸コンサルチーム発足効果と今後の課題～呼吸器症状を有する患者の現状把握から考察する～
88-2	古賀 友香理	理学療法士	熊本県	桜十字病院 リハビリテーション部	感覚面へ配慮をしたアプローチにより、ケアの受け入れが改善した症例
88-3	中村 颯汰	学生	大阪府	大和大学 保健医療学部 理学療法学専攻	若年者と高齢者において咀嚼速度の増加が歩行速度の向上の一誘因になりうるか
88-4	横山 裕宣	学生	大阪府	大和大学保健医療学部 理学療法学専攻	地域在住高齢者における認知機能がガム咀嚼運動と歩行速度に関係しているのか
88-5	小永井 洋一	作業療法士	静岡県	新富士ケアセンター リハビリテーション科	褥瘡対策におけるリハビリテーション科の取り組み
88-6	佐々木 結	作業療法士	東京都	多摩丘陵病院	早期退院支援に向けた地域包括ケア病棟での集団活動の取り組み

89 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00～10:00 リハビリテーション全般④

【座長】村口良介 博愛記念病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

【評価者】川野裕亮 大内病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
89-1	木村 尚美	介護福祉士	宮城県	介護老人保健施設しおんユニット介護科	介護老人保健施設における長期入所高齢者の生活の充実と幸せを感じるまで～施設生活での幸福感を考える～
89-2	大和田 敦	理学療法士	東京都	青梅三慶病院リハビリテーション科	食事介助に関する一考察～対象者の自律反応に着目して～
89-3	関田 惇也	理学療法士	神奈川県	座間総合病院リハビリテーション科	リハビリテーション介入中の療養型病棟入院患者における自宅および施設退院可否とFIMの変化との関連性
89-4	村上 順哉	理学療法士	北海道	愛全病院リハビリテーション科	「生活リハビリ」を活用した退院支援
89-5	中川 英紀	言語聴覚士	熊本県	新生翠病院 リハビリテーション技術部	肢位及び頸部角度の違いが咳嗽力に及ぼす影響
89-6	望月 建吾	理学療法士	千葉県	富家リハビリセンター花見川	デイサービスのマシントレーニング利用推進～施設内通貨の活用方法～

90 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00～11:00 リハビリテーション全般⑤

【座長】辻中椋 泉佐野優人会病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

【評価者】村口良介 博愛記念病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
90-1	田之上 将大	理学療法士	大阪府	多根第二病院 リハビリテーション部	療養型病院における自宅退院に影響を与える因子について～リハビリテーションにできること～
90-2	森 知花	作業療法士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	立位が困難だった症例が歩行獲得し自宅退院までの経過
90-3	平林 克得	理学療法士	大分県	和田病院 リハビリテーション課	家族構成があたえるサルコペニア・フレイルの関連性～当院サロン活動に参加する方への調査を通じて～
90-4	矢野 広宣	理学療法士	徳島県	鳴門山上病院診療協力部リハビリテーション部門	当院医療療養病棟入院患者の栄養状態と身体機能の関係について一座位に着目して一
90-5	松浦 萌	理学療法士	埼玉県	富家病院 リハビリテーション室	人工呼吸器を装着した患者に対し G-TES を施行した際の有酸素運動効果
90-6	松元 亜未	言語聴覚士	東京都	城山病院リハビリテーション部	「長期間の入院を経て自宅退院となった症例～療養病棟と回復期病棟での振り返り～」

91 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:00 リハビリテーション全般⑥

【座長】川野裕亮 大内病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

【評価者】辻中 泉佐野優人会病院 リハビリテーション部 係長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
91-1	山野 弘貴	理学療法士	大阪府	わかかさ竜間リハビリテーション病院 リハビリテーション部	認知機能低下により意欲低下を認め治療に難渋した腕神経叢損傷の症例
91-2	神山 拓哉	健康運動指導士	北海道	札幌西円山病院リハビリテーション部	健康運動指導士・音楽療法士・レクリエーションワーカーが入院患者の QOL に与える影響
91-3	小野 公嗣	理学療法士	兵庫県	平成リハビリテーション専門学校	臨床実習において学生が感じるハラスメントの実態～学生のパーソナリティに着目して～
91-4	山岸 邦成	作業療法士	北海道	訪問看護ステーションポプラ	紙芝居活動による幸せホルモン活性化～入居者の心理社会的健康向上のために～
91-5	川村 優輔	理学療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタルリハビリテーションセンター	Coolief 疼痛管理用高周波システムが身体機能に及ぼす影響
91-6	南山 莉緒	理学療法士	北海道	定山溪病院 理学療法科	アンケート結果から見えた呼吸コンサルチームの実績と今後の課題

92 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 代替療法・レクリエーション①

【座長】原口友子 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 技士長 言語聴覚士

【評価者】森祥子 豊中平成病院 リハビリテーション部 部長代理 作業療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
92-1	山部 千晴	介護福祉士	大阪府	緑水会病院看護部	音楽療法が認知症患者に与える効果
92-2	湯浅 理恵子	言語聴覚士	山口県	宇部西リハビリテーション病院リハビリテーション部	職員の意識の変化によるレクリエーションの充実
92-3	堀 有希野	准看護師	三重県	長島中央病院	アロマオイルで嗅覚を刺激する取り組み
92-4	井谷 祥久	介護福祉士	島根県	鹿島病院	回復 cafe へようこそ 1杯のコーヒーから病棟生活に潤いを
92-5	湯澤 千恵	介護職	兵庫県	北摂中央病院	ユマニチュード、ヒーリングタッチを用いたケアの取り組みについて
92-6	斎藤 優	介護福祉士	東京都	ケアセンターけやき	継続は力なり！毎日笑って楽しい暮らしを～幸せホルモン～

93 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00～11:00 代替療法・レクリエーション②

【座長】佐藤翔 印西総合病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

【評価者】原口友子 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 技士長 言語聴覚士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
93-1	鈴木 百合恵	介護職	静岡県	西伊豆健育会病院 看護部	みんなで貼り絵、Let's try 楽しい気持ちで過ごせるように
93-2	福田 伸之	理学療法士	福岡県	北九州若杉病院 リハビリテーション科	グループ作業への参加による効果
93-3	河野 厚	エステティシャン	大阪府	千里リハビリテーション病院	回後期リハビリテーション病院におけるメディカルエステの取り組み
93-4	石井 宏明	介護福祉士	神奈川県	介護付き有料老人ホーム ライフケアガーデン湘南	日常生活における生活改善と睡眠の質の向上
93-5	杉山 潤一	理学療法士	静岡県	介護付有料老人ホーム ライフケアガーデン熱川 看護課	ご利用者の「幸せ度」を高めるために～「幸せホルモン」の知見から～
93-6	勝又 奈緒	看護師	宮城県	ひまわり在宅グループ ひまわり訪問看護ステーション	「訪問看護と看多機におけるのメディカルアロマケアの取り組み」

94 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00～11:50 排泄リハビリテーション

【座長】森祥子 豊中平成病院 リハビリテーション部 部長代理 作業療法士

【評価者】佐藤翔 印西総合病院 リハビリテーション部 部長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
94-1	久米 かすみ	理学療法士	北海道	定山溪病院	排尿ケアチームに在籍する療法士が作成した排泄動作評価表の有用性と今後の課題
94-2	阿部 浩太郎	作業療法士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	うつ状態が見られる患者のトイレ動作獲得を目指した症例
94-3	近藤 里咲	理学療法士	埼玉県	埼玉セントラル病院	療養病棟入院中の高齢者における排尿習慣の再学習・筋力強化により尿失禁が改善した症例
94-4	若村 陽香	理学療法士	高知県	愛宕病院分院リハビリテーション科	排尿表を用いることで排尿管理が可能となった知的機能の低下を認める症例
94-5	村山 侑紀	作業療法士	兵庫県	書写病院リハビリテーション科	排泄の自立の重要性を再認識させられた事例～2人の高齢女性のリハビリを通して～

第6会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G312+G313)

95 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 外来・通所リハビリテーション①

【座長】岡裕光 小林記念病院 外来診療科 科長 理学療法士

【評価者】袖田真知子 新栄会病院 リハビリテーション課 課長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
95-1	渡辺 裕樹	理学療法士	東京都	まちだ丘の上病院リハビリテーション科	審美的歩容改善目的でボツリヌス療法を行った青年期女性脳性麻痺患者のリハ経験
95-2	板垣 陽介	理学療法士	島根県	鹿島病院在宅サービス部	在宅サービス部のカンファレンス強化による退院後の日常生活動作への影響について
95-3	磯部 直子	作業療法士	静岡県	介護老人保健施設 三方原ベテルホーム リハビリテーション課	通所リハビリテーションに消極的な男性利用者への関わりー対話から引き出せた活動を実施した前後の変化ー
95-4	長尾 由美	看護師	香川県	通所リハビリテーションはしもと	尿もれ改善を目的とした骨盤底筋体操の工夫について
95-5	池田 佳奈	言語聴覚士	北海道	定山溪病院 リハビリテーション部 言語療法科	当院における外来 VF に関する考察
95-6	和田 彬樹	作業療法士	徳島県	江藤病院 リハビリテーション部	当院外来リハビリテーション利用患者における要望調査

96 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 外来・通所リハビリテーション②

【座長】林大二郎 多摩川病院 リハビリテーション部 課長 理学療法士

【評価者】岡裕光 小林記念病院 外来診療科 科長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
96-1	大西 航平	作業療法士	愛知県	藤田医科大学病院リハビリテーション部	大学病院で実施する短時間通所リハビリテーションでの取り組みおよび経過
96-2	徳田 理紀	理学療法士	東京都	脳梗塞リハビリセンター	歩行状態の改善とともに意識障害が変化した脳卒中生活期の1症例報告
96-3	仲松 江梨子	理学療法士	沖縄県	宜野湾記念病院 リハビリテーション部	就労継続支援を行うなかで主体性の再構築を認めた脳出血後の通所リハビリテーション利用者の一例
96-4	翁長 由佳	介護福祉士	沖縄県	宜野湾記念病院 看護部	当通所リハビリテーション利用者における口腔機能に関する調査報告
96-5	後藤 貴浩	臨床心理士	宮城県	西仙台病院臨床心理室	通所リハビリテーションでの公認心理師による「心理プログラム」の効果 2ー追加利用の多施設間研究ー
96-6	渡辺 正美	臨床心理士	宮城県	西仙台病院臨床心理室	通所リハビリテーションでの公認心理師による「心理プログラム」の効果 1ー心理状態の変化に着目してー

97 (ポスター) 11月15日(金) 11:00~12:00 外来・通所リハビリテーション③訪問(在宅)リハビリテーション②
【座長】**袖田真知子** 新栄会病院 リハビリテーション課 課長 理学療法士
【評価者】**林大二郎** 多摩川病院 リハビリテーション部 課長 理学療法士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
97-1	山崎 博喜	理学療法士	福岡県	原病院 リハビリテーション部	頸椎症性神経根症術後患者の前腕麻痺に対する長期経過の経験
97-2	田村 瑞希	理学療法士	宮城県	介護老人保健施設ゆうゆうホーム通所リハビリテーション	通所リハビリにおける新規利用から1年間で見た週利用回数別のBIとTUGの変化
97-3	中村 裕樹	理学療法士	鹿児島県	八反丸リハビリテーション病院リハケア部	訪問リハビリテーション利用者における自主トレーニング継続の状況
97-4	馬場 優介	作業療法士	福岡県	訪問看護ステーション高良台	軽費老人ホーム入居者を対象とした運動教室が身体機能に与える影響
97-5	野元 尚恵	理学療法士	鹿児島県	吉田記念病院リハビリテーション課	コロナ禍で訪問リハビリテーション提供体制を見直してみても～フォロー体制に変えて得たもの～
97-6	栢谷 阿実	作業療法士	香川県	橋本病院 訪問リハビリテーションセンターはしもと	訪問リハビリにて趣味活動を獲得し、身体機能、活動性が向上した症例

98 (ポスター) 11月15日(金) 9:00~10:00 訪問(在宅)リハビリテーション③摂食・嚥下リハビリテーション①
【座長】**金沢英哲** 富家病院 摂食嚥下サポートチームリーダー 医師
【評価者】**白波瀬元道** 永生病院 法人本部 リハビリ統括部 課長 言語聴覚士

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
98-1	野本 正仁	理学療法士	群馬県	美原記念病院 リハビリテーション部	訪問リハのあり方～訪問リハ事業所と訪看ステーションにおけるADL能力改善に係るコストに着目して～
98-2	黒木 博和	理学療法士	鹿児島県	隼人温泉病院訪問リハビリテーション	封入体筋炎に対する廃用症候群予防に向けた取り組み～自主練習の提供を試みた1症例～
98-3	寺西 彰一	理学療法士	石川県	千木病院リハビリテーション部	同一セラピストが通所リハ・訪問リハを担当したことで出来た、スピード感のある関わり
98-4	吉田 雄太	理学療法士	大分県	和田病院 リハビリテーション課	高齢化地域における訪問リハサテライト事業所設置による地域連携の効果：ケアマネジャーの評価による分析
98-5	鶴岡 良太	言語聴覚士	北海道	苫小牧東病院リハビリテーション部	訪問リハビリテーションの介入により咀嚼機能が改善し、食形態が向上した一例
98-6	鈴木 和歌子	言語聴覚士	千葉県	小林病院リハビリテーション部	オーラル・フレイルの現状と対策—通所リハビリ利用者と同評価を実施して—

99 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 摂食・嚥下リハビリテーション②

【座長】我妻将喜 富家千葉病院 摂食嚥下センター長 医師

【評価者】金沢英哲 富家病院 摂食嚥下サポートチームリーダー 医師

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
99-1	太田 宝来	言語聴覚士	福岡県	水戸病院リハビリテーション科	「好きなものを食べたい」～重度ギランバレー症候群患者の経口摂取への取り組み～
99-2	久野木 里美	看護師	東京都	陵北病院 看護部	「食べることは生きること」多職種協働にて経鼻経管栄養から経口摂取へ移行できた2症例
99-3	松本 善寛	看護師	富山県	清幸会島田病院	嚥下内視鏡介入による入院患者の誤嚥性肺炎の罹患や死亡の減少効果に関する検討
99-4	加藤 広夢	言語聴覚士	栃木県	那須赤十字病院 リハビリテーション科	誤嚥性肺炎の経口移行と入院期間に対する要因の検討
99-5	光本 洋規	言語聴覚士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	舌骨上筋群へのアプローチおよび積極的な離床により自力摂取に至ったパーキンソン病症例
99-6	八島 愛理	言語聴覚士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	「かんぴょう巻きが食べたい」経口摂取困難な患者に継続的にリハビリを行い3食経口摂取可能となった症例

100 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:00 摂食・嚥下リハビリテーション③

【座長】白波瀬元道 永生病院 法人本部 リハビリ統括部 課長 言語聴覚士

【評価者】我妻将喜 富家千葉病院 摂食嚥下センター長 医師

〈第12回慢性期リハビリテーション学会〉

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
100-1	疋田 奈緒	言語聴覚士	福岡県	新栄会病院介護医療院 リハビリテーション課	胃瘻造設後から3食経口摂取、とろみ付きノンアルコールビールが摂取可能になった症例
100-2	奥山 宏佳	言語聴覚士	静岡県	介護医療院 湖東病院	食べる楽しみを継続するために～入所者・家族に寄り添った支援～
100-3	耳田 伸寛	言語聴覚士	福岡県	上野病院 言語聴覚室	当院併設の認知症デイケアにて摂食嚥下障害を指摘され嚥下診療目的で入院した1症例
100-4	森光 美緒	言語聴覚士	高知県	高知城東病院	適正なとろみ付に向けた取り組み
100-5	堀内 璃々子	言語聴覚士	山梨県	恵信甲府病院 リハビリテーション部	飴の形状の違いによる最大舌圧の比較
100-6	星野 悠佳	言語聴覚士	島根県	安来第一病院 言語聴覚療法科	食思不振患者へのアプローチによって食事が改善し自宅退院に至った一例

第7会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

101 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 経営管理②

【座長】岡田誠志 定山溪病院 経営管理部 部長 事務

【評価者】前田洋子 橋本病院 ソーシャルワーカー部 主任 社会福祉士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
101-1	山下 晋矢	医師	東京都	セントラル病院統括院長	長期療養型病院から戦う慢性期病院への転換の道程
101-2	武部 洋史	事務職	富山県	西能みなみ病院	診療報酬制度変遷に応じた療養病棟運営の取り組みについての報告
101-3	大澤 和美	看護師	埼玉県	城南中央病院看護科	地球を守れ！ 病棟でも出来る SDGs～資源の削減＝コスト削減～
101-4	徳嶋 慎太郎	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	Employee Net Promoter Score を用いた職場推奨度の分析と今後の展望
101-5	石上 成彦	事務職	大阪府	ベルピアノ病院企画室	投資ゼロの原価計算を用いて経営判断に寄与した事例
101-6	寒風澤 正和	事務職	佐賀県	志田病院	マイナンバーカード利用率向上のために

102 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 臨床検査

【座長】岡田悠介 富家病院 総合診療医 医師

【評価者】岡田誠志 定山溪病院 経営管理部 部長 事務

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
102-1	坂田 有紀	放射線技師	千葉県	初富保健病院画像連携センター	両上肢の肢位による体幹部 CT 検査の被ばく線量の DRLS2020 との比較
102-2	吉川 仁	放射線技師	奈良県	南和病院	胸部レントゲン AI 診断支援ソフトウェアを導入して
102-3	南部 一昭	放射線技師	東京都	鶴川リハビリテーション病院画放射線科	診療放射線技師による認知症対応検査の有用性 (熊谷式認知症対応を基に)
102-4	奈良 泰雅	放射線技師	千葉県	初富保健病院 画像連携センター	慢性期病院における CT・MRI 検査の緊急を要する異常所見把握とその必要性
102-5	濱島 真尋	放射線技師	福岡県	原土井病院 画像診断部 放射線科	CT 検査と比較した X 線検査における急性期肋骨骨折検出率の調査
102-6	山本 直哉	臨床検査技師	東京都	立川中央病院 検査科	血中アンモニア測定における経時的变化の検討

103 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~11:40 医療ソーシャルワーク

【座長】前田洋子 橋本病院 ソーシャルワーカー部 主任 社会福祉士

【評価者】岡田悠介 富家病院 総合診療医 医師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
103-1	内村 尚憲	社会福祉士	鹿児島県	加治木温泉病院 地域医療連携センター	退院支援強化に向けた後方連携促進の試み
103-2	桑原 真希	社会福祉士	富山県	西能みなみ病院地域連携室	効果的・効率的なベッドコントロールを目指した退院支援患者の背景分析
103-3	高橋 紗代	社会福祉士	香川県	橋本病院	香川から750km、高齢介護者の姉宅へ退院が可能となった症例
103-4	飯田 紗野	社会福祉士	滋賀県	淡海ふれあい病院医療福祉相談課	退院支援における医療ソーシャルワーカーの存在意義～独居高齢者への退院支援を通して～

104 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 チーム医療⑥

【座長】北野詩歩子 定山溪病院 栄養科 科長 管理栄養士

【評価者】大塚翔 緑成会病院 栄養部 係長 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
104-1	若濱 涼平	理学療法士	北海道	札幌西円山病院リハビリテーション部	病棟リハビリ職員の新たな挑戦 病棟理学療法士が居宅介護支援事業所の介護支援専門員を兼務した効果について
104-2	平原 未紗	管理栄養士	神奈川県	元気会横浜病院栄養課	認知症ケアにおける多職種チームを結成し、低栄養の改善を行った取り組みについて
104-3	谷川 真樹	理学療法士	福岡県	原土井病院リハビリテーション部	当院におけるポリファーマシーチームへの療法士の関わり
104-4	中村 留美	看護師	長崎県	恵寿病院 看護部	声と味覚を取り戻した80代患者の事例報告～気管カニューレ・胃管からの離脱を支えたチーム医療～
104-5	遠藤 佑華	介護支援専門員	埼玉県	富家在宅リハビリテーションケアセンター	「家に帰りたい」医療・介護で支えるチームケア
104-6	師岡 一寧	作業療法士	東京都	大久野病院リハビリテーション部	『多職種の連携により身体拘束解除した流暢性失語症患者の一事例』

105 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00～11:00 チーム医療⑦

【座長】中川賢 堺平成病院 リハビリテーション部 課長 言語聴覚士

【評価者】北野詩歩子 定山溪病院 栄養科 科長 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
105-1	折橋 佳那	作業療法士	富山県	西能みなみ病院診療部 リハビリテーション科	緑茶葉入りガーゼグリップの手指の屈曲拘縮 と不快臭に対する予防効果について
105-2	藤井 浩文	介護福祉士	静岡県	熱川温泉病院	温泉と集団体操が幸せホルモンのセロトニン に与える影響とその効果
105-3	平野 麻以	事務職	東京都	まちだ丘の上病院 医 事課	内からにじみ出る広報活動～まちおかの 「わ」を広げるプロジェクトチームの取り組 み～
105-4	大石 真里	看護師	山梨県	城東病院 療養支援部	想いを形にする関わり—ACP に基づいた多職 種介入—
105-5	今野 賢人	理学療法士	宮城県	石巻健育会病院 リハ ビリテーション部	「易怒・興奮」がみられる高齢患者が経口摂取 を再獲得した一症例～接し方、笑顔の介入が関 係を築く～
105-6	辻 早菜恵	理学療法士	東京都	鶴川サナトリウム病院	全ての認知症患者様を受け入れられる病院 へ～地域一般病棟開設に向けた、リハビリテー ション科の取り組み～

106 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00～12:00 チーム医療⑧

【座長】大塚翔 緑成会病院 栄養部 係長 管理栄養士

【評価者】中川賢 堺平成病院 リハビリテーション部 課長 言語聴覚士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
106-1	山村 美華	医師	福岡県	飯塚嘉穂病院皮膚科	慢性期病院における老年医学包括ケアのため の皮膚科と内科医の連携とその重要性
106-2	上田 裕美	看護師	山口県	光風園病院	患者のどうしても食べたいという願いを実現 する為に～ワレンベルグ症候群患者の喉頭気 管分離術を経験して～
106-3	山田 裕美	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	人工呼吸器管理が必要な患者の退院支援～多 職種と協働し退院するまでの一事例～
106-4	関本 悠奈	看護師	和歌山県	藤民病院 医療療養病 棟	褥瘡予防を通して看護補助者が生き生きと活 躍できる環境作り～看護補助者を経験したか らできること～
106-5	栗原 都	理学療法士	埼玉県	霞ヶ関南病院	患者の活動と参加につながるリフターの活用 事例～介護負担軽減との両立～
106-6	伊東 桃子	管理栄養士	東京都	鶴川サナトリウム病院 栄養科	抗精神科薬による過鎮静にて低栄養に陥った 患者の栄養状態改善に向けて～NST を通して の変化～

第8会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

107 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 介護施設②

【座長】木原真一 志田病院 介護保険部 部長 介護職

【評価者】中村早緒里 千里リハビリテーション病院 栄養課 サブリーダー 管理栄養士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
107-1	藤原 理恵子	介護福祉士	兵庫県	老人保健施設あずさ	ラバーシューズの使用頻度の見直し
107-2	太郎良 篤史	事務職	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	介護 DX による生産性向上の取り組み
107-3	斉藤 光彦	介護福祉士	千葉県	特別養護老人ホーム四街道苑	介護施設での褥瘡へのアプローチ
107-4	前田 真理	理学療法士	神奈川県	介護老人保健施設 ケアホーム横浜 リハビリテーション科	介護老人保健施設入所者におけるフレイル、サルコペニアと Quality of Life との関係：多施設共同研究
107-5	上杉 美音子	理学療法士	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ泉 リハビリテーション部	施設入所者におけるトイレ介助に必要な立位保持時間の調査
107-6	渡邊 麻衣	作業療法士	兵庫県	ヴィラ播磨デイサービスセンター	デイサービス利用者の上下肢機能と BI と VI との関連

108 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 介護施設③

【座長】岡村達也 特別養護老人ホームくやはら 生活支援部長 介護福祉士

【評価者】木原真一 志田病院 介護保険部 部長 介護職

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
108-1	勝田 国子	介護福祉士	島根県	グループホームかわもと「あいあいの家」	認知症高齢者グループホームにおけるコロナ感染対策～リスクコミュニケーションの推進～
108-2	田中 里佳	社会福祉士	群馬県	特別養護老人ホームくやはら	特別養護老人ホームにおける点滴治療は、入所者の入院を減らせるか？
108-3	小寺 康之	看護師	埼玉県	介護老人保健施設志木瑞穂の里看護課	料理レクがもたらす効果について
108-4	鶴 由香	介護福祉士	佐賀県	志田病院 介護保険部	介護職員の負担軽減への取り組み
108-5	黒木 一史	作業療法士	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	介護施設において、BI を意識したリハビリ職員を中心に多職種で連携した取組
108-6	梅野 桐子	看護師	福岡県	メディカルケア南ヶ丘	介護施設と病院の協力医療機関連携による取組の効果について

109 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:10 栄養管理

【座長】中村早緒里 千里リハビリテーション病院 栄養課 サブリーダー 管理栄養士

【評価者】岡村達也 特別養護老人ホームくやはら 生活支援部長 介護福祉士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
109-1	小林 琴美	管理栄養士	愛知県	並木病院栄養科	NST 介入により経管栄養離脱・必要栄養量を経口摂取出来るまで改善した 1 症例
109-2	古賀 標志	管理栄養士	熊本県	悠紀会病院 栄養管理科	医療療養病棟における摂取エネルギー量と褥瘡の関連
109-3	吉田 遥香	管理栄養士	奈良県	奈良厚生会病院 介護医療院 栄養科	中鎖脂肪酸を用いた栄養状態改善への取り組み
109-4	細木 恵	管理栄養士	和歌山県	宇都宮病院	療養病棟における金芽米への変更が高齢者の排便コントロールに及ぼす効果
109-5	高階 遥香	管理栄養士	福岡県	有吉病院介護医療院栄養科	腸内環境正常化で栄養状態が改善するか～シンバイオティクスを目指した 3 年に渡る取り組み～
109-6	小澤 美香	管理栄養士	静岡県	介護医療院 湖東病院 栄養管理課	誤配膳をなくす取り組みについて
109-7	富澤 由美子	管理栄養士	東京都	介護医療院東京多摩病院 栄養課	高密度の食事が療養生活改善に寄与できたか

第9会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

110 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 スタッフ育成①

【座長】古賀俊貴 高良台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 教育担当者 作業療法士

【評価者】西口ともよ 池端病院 看護部 統括師長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
110-1	上田 真愉未	看護師	大阪府	照葉の里箕面病院	中規模療養型病院における介護士ラダー作成・運用への取り組み
110-2	重富 悠乃	医師	山口県	光輝病院	医学生及び研修医に対する慢性期医療における総合診療医による医学教育の取り組みについて
110-3	小松原 萌恵	看護師	埼玉県	新越谷病院 看護部	2 度の BLNAR アウトブレイクを経験、感染リンクナーズとして介入し感じた継続的介入の重要性
110-4	塩田 美佐代	看護師	静岡県	きせがわ病院	外国人介護職へのリテンションマネジメントの成果
110-5	野間 忍	看護師	愛媛県	南高井病院	新卒看護師サポートチームの取り組み～新人看護師教育プログラムの作成と運用～
110-6	森川 由香	看護師	愛媛県	道後温泉病院看護部	外国人スタッフ育成の実際

111 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 スタッフ育成②

【座長】梅津光香 定山溪病院 看護部 部長 看護師

【評価者】古賀俊貴 高良台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 教育担当者 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
111-1	中川 直子	作業療法士	神奈川県	介護老人福祉施設ヴィラ横浜	安全な食事介助方法統一の取り組み
111-2	馬場 幸子	看護師	熊本県	水前寺とうや病院 看護部	多職種による管理者研修の効果～研修報告書を振り返って～
111-3	伊藤 真弓	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院 看護部	看護補助者の人財育成と働き続けられる職場に向けた取り組み
111-4	渡邊 潤	理学療法士	長野県	轟病院リハビリテーション科	褥瘡予防に対する当院の取り組み—ポジショニング研修会を施行して—
111-5	澤田 直孝	理学療法士	福岡県	北九州小倉病院リハビリテーション科	自分が伝えたい事を職場内に浸透するためには—マネジメントの法則と今後の対策—
111-6	大島 誠之	介護福祉士	香川県	永生病院	介護職員の処遇改善加算を利用した当院の取り組み～法人内の架け橋となれるように～

112 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:10 スタッフ育成③

【座長】西口ともよ 池端病院 看護部 統括師長 看護師

【評価者】梅津光香 定山溪病院 看護部 部長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
112-1	今富 裕之	理学療法士	大阪府	平成記念病院リハビリテーション科	今後の専門分野での活躍の場を求めて、認定理学療法士の取得率向上を目指した取り組み
112-2	吉田 麻奈美	看護師	富山県	いま泉病院	人材確保と職員定着を目指した取り組み
112-3	小此木 直人	理学療法士	群馬県	内田病院	新入職者の早期離職を防ぐためのフォローアップ研修の効果検証 3年間の離職率の比較から
112-4	齋藤 悦男	介護福祉士	千葉県	総泉病院 特殊疾患病棟	共に歩む介護の未来～外国人介護士受け入れ支援～
112-5	倉橋 千秋	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	看護師負担度と成果の可視化を病棟管理に活かす
112-6	恩庄 美樹	介護福祉士	大阪府	千里リハビリテーション病院	介護職の教育と業務マニュアルの作成～介護管理職の取り組み～
112-7	岩城 依央理	事務職	鹿児島県	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	中途採用障害者雇用への取り組み

第10会場 (パシフィコ横浜ノース 3F G320)

113 (ポスター) 11月15日 (金) 9:00~10:00 褥瘡・スキンケア①

【座長】石川恭平 小林記念病院 慢性期リハビリ病棟科 リハビリ係 係長 作業療法士

【評価者】東由希子 芳珠記念病院 看護局 次長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
113-1	古川 成美	看護師	鹿児島県	吉田記念病院介護医療院	PEG 部周囲のスキントラブルについての取り組み
113-2	金坂 雅子	看護師	北海道	苫小牧東病院 医療療養病棟	長期臥床患者の手指拘縮の緩和についての取り組み ビーズボールを使用した拘縮手へのアプローチ
113-3	牛嶋 泰介	作業療法士	愛知県	小林記念病院入院医療部慢性期リハビリ病棟科	難治性の褥瘡を合併した長期臥床の脊髄損傷患者へのリハビリ成果
113-4	山本 香	介護福祉士	大阪府	緑水会病院 看護部	手指拘縮患者の手掌内皮膚トラブル予防と拘縮改善への取り組み～素材の違うハンドロールを用いた効果～
113-5	成田 幸代	介護福祉士	愛知県	刈谷豊田東病院看護介護部	拘縮による握りこみや皮膚密着により生じた掌の湿潤環境の改善を目指して にぎり新聞紙を使用したケアの実践
113-6	大橋 久美子	看護師	新潟県	三条東病院看護部	褥瘡ケアにおける看護師に求められる統一ケアへの取り組み

114 (ポスター) 11月15日 (金) 10:00~11:00 褥瘡・スキンケア②

【座長】後藤紀史 多摩川病院 院長 医師

【評価者】石川恭平 小林記念病院 慢性期リハビリ病棟科 リハビリ係 係長 作業療法士

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
114-1	平田 晃士	理学療法士	鹿児島県	田上記念病院リハビリテーション部	頭蓋欠損・人工呼吸器を併存しポジショニングが困難であった症例への褥瘡に対するアプローチ
114-2	坂口 陽子	看護師	福岡県	上曽根病院	寝たきり患者の下肢の保清・保湿を保つには
114-3	福井 那奈	看護師	秋田県	外旭川病院	皮膚トラブル予防に向けた取り組み—スモールチェンジ法を用いた除圧—
114-4	細田 結香	理学療法士	山口県	光風園病院	当院リハビリテーションスタッフの褥瘡に対する意識調査。アンケート調査からみえたもの
114-5	高橋 智哉	看護師	神奈川県	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	手指関節に拘縮がある患者へのスキンケア
114-6	真杉 尚子	看護師	静岡県	静岡徳洲会病院	壊死性筋膜炎に至る褥瘡を見逃さないための初期対応

115 (ポスター) 11月15日 (金) 11:00~12:00 褥瘡・スキンケア③

【座長】東由希子 芳珠記念病院 看護局 次長 看護師

【評価者】村松奈美 鶴巻温泉病院 看護部 科長 看護師

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属機関名	演題名
115-1	中村 萌子	理学療法士	広島県	ナカムラ病院 リハビリテーション科	ポジショニングにおける通気性
115-2	青田 拓也	理学療法士	宮城県	西仙台病院リハビリテーション科	慢性期病院におけるポジショニングの有効性—体圧測定結果による客観的評価—
115-3	下久保 悠	理学療法士	鹿児島県	国分中央病院 リハビリテーション室	脊椎カリエスによる重度脊柱変形を伴った症例に対するポジショニングの経験
115-4	齋藤 拓哉	看護師	埼玉県	西部総合病院看護学部	腋窩の発赤改善に効果的で継続できるケア 保清、除圧、酢水の検証
115-5	飯島 真紀	看護師	山梨県	城東病院 療養支援部	褥瘡のクリニカルインディケーターから見たもの～褥瘡対策チームの活動を振り返って～
115-6	新納 美沙	看護師	大分県	和田病院 慢性期	多発性褥瘡患者に対するチームアプローチ